

2022 兵庫教育大学 大学院案内

Graduate School,
Hyogo University of Teacher Education



学校教育研究科

修士課程

専門職学位課程(教職大学院)

日本の教師教育をリードする 兵庫教育大学大学院で豊かな学びを

兵庫教育大学は、大学院における教員の養成・研修を中核とする新しいタイプの教育大学として、昭和53年に創設されました。以来、日本の教師教育をリードするトップランナーとして、学校現場の課題やニーズ、教育政策の変化に応じて、絶えず大学院の専攻・コースを刷新し、カリキュラムを改善してきました。そのような本学大学院は他の教育系大学院にはない次のような特色を持っています。

- 教育専門職としての高度な専門性と実践的指導力を育成します
- 教育長、校長などの管理職から、教務主任、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーターなどのミドルリーダー、新任教員やスクールカウンセラーまで、学校教育の多様な専門職の養成プログラムを用意しています
- 学校現場を重視した教育・研究(教育実践学)を行っています
- 働きながら夜間や土日に学べるコースを神戸ハーバーランドキャンパスで開設しています
- 現職教員の学生とこれから教員や心理専門職になろうとする学生との学びの交流があります
- 本学独自の奨学金制度と入学科・授業料免除制度を用意しています
- 就職支援が充実しており、ほとんどの修了者が教員や心理専門職に就職しています
- 現職教員も多く学ぶ本学博士課程への進学の道が開かれています

今後も、兵庫教育大学大学院は、Society 5.0における学びなど新しい教育課題に対応したカリキュラムや教育方法を開発するとともに、学生支援をさらに充実させていきます。皆様一人ひとりが、本学大学院でご自分の可能性を最大限に伸ばし、高い達成感と満足度を得られることを願っています。

国立大学法人兵庫教育大学長 加治佐 哲也

兵庫教育大学のビジョン

- 1 教師教育のトップランナー
- 2 学生の持てる力を最大限に引き出す大学
- 3 成長し続ける大学

兵庫教育大学のミッション

- 1 現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成
- 2 実践力に優れた新任教員及び心理専門職の養成
- 3 教育実践学の推進
- 4 教師教育の先導的モデルの構築
- 5 教育研究成果の国内外への発信

3専攻17コース

全国最大規模の教員養成系大学院

本学大学院学校教育研究科は、修士課程（2専攻：定員145名）と専門職学位課程（1専攻：定員155名）で構成し、それぞれの教育課程の目的に沿って学校現場を重視した教育・研究（教育実践学）を行い、以下のような人材を養成しています。

開学から40年以上が経ち、1万人を超える修了生が全国の学校現場等で活躍しています。

修士課程

人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	→ p.15
	幼年教育・発達支援コース	→ p.17
	学校心理・学校健康教育・発達支援コース	→ p.19
	臨床心理学コース	→ p.21
	芸術表現系教育コース	→ p.23
	生活・健康・情報系教育コース	→ p.25
特別支援教育専攻	障害科学コース	→ p.29
	発達障害支援実践コース	→ p.31

養成する人材

- “子どもとのかかわり”から教育を捉え、多様な観点から協働的に問題解決ができる教員
- 幼年教育の理論と実践に基づき、子どもと共に希望ある未来をつくる子育て支援コーディネーター
- 教育現場における子どもの発達や教員の悩みを、総合的に支援できる心理専門職
- 障害のある児童に対し、専門的・総合的な支援を行える特別支援教育スーパーバイザー

専門職学位課程（教職大学院）

教育実践高度化専攻	学校経営コース	→ p.37
	教育方法・生徒指導マネジメントコース	→ p.39
	言語系教科マネジメントコース	→ p.41
	社会系教科マネジメントコース	→ p.43
	理数系教科マネジメントコース	→ p.45
	小学校教員養成特別コース	→ p.47
	グローバル化推進教育リーダーコース	→ p.49
	教育政策リーダーコース	→ p.51
	学校教育コース	→ p.53

養成する人材

- 高度な経営力を備え、新しい学校と教育行政をつくるトップリーダー
- 授業実践や生徒指導において、学校現場で指導的役割を果たし得るミドルリーダー
- より実践的な指導力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員

CONTENTS

学長メッセージ	→ p.1
兵庫教育大学の ビジョン・ミッション	→ p.1
令和4年度からスタートする 新たな取り組み	→ p.3
修了生が語る！大学院の魅力	→ p.7
取得できる資格	→ p.9
各コース紹介	
修士課程	→ p.11
専門職学位課程 （教職大学院）	→ p.33
教育プログラム	→ p.55
修学支援	→ p.57
▶ 入学科・授業料	
▶ 奨学金制度等	
修了後の進路・就職	→ p.59
データで見る大学院生の キャンパスライフ	→ p.61
学びをサポートする 充実の環境	→ p.62
▶ 加東キャンパス	
▶ 学生寄宿舍	
▶ 神戸ハーバーランドキャンパス	
▶ カレッジバス	

令和4年度からスタートする新たな取り組み

1

これからは小学校と中学校の
両方の教員免許が必須に

小中連携教育プログラムを開設

小学校から中学校への進学に際し、新しい環境での学習や生活に不適応を起こす、いわゆる「中1ギャップ」の解消等のため、小中一貫教育等が推進されています。平成28年度からの改正学校教育法の施行により、「義務教育学校(9年制)」の設置が可能となりました。令和2年度学校基本調査によると、全国に義務教育学校126校(前年度から32校増)が設置されており、小中一貫型小・中学校も合わせ、その設置数は年々増加しています。これに伴い、中央教育審議会において、義務教育9年間を見通した児童生徒への指導や学校運営に対応するため、養成段階においても小学校と中学校の両方の教員免許の取得を推進するための方策が検討されており、兵庫教育大学では先駆けて対応することとしました。

教員採用試験において小・中学校を一括採用する自治体(令和2年度実施分)

▶ 東京都(中学校/理科・英語対象)	▶ 静岡県(中学校/全教科対象)	▶ 岡山県(中学校/全教科対象)
▶ 岐阜県(中学校/数学・理科対象)	▶ 群馬県(中学校/全教科対象)	など

小中連携教育プログラムの概要 大学院で小(中)学校の教員免許状を追加取得可能

小中一貫・連携教育に対応できる教員を大学院で養成するため、小中連携教育プログラムの受講希望者は、大学院在学中(2年間)に小学校教諭2種免許状の所要資格を取得できます。さらに、修士課程の学生については、幼稚園教諭免許状を取得済みで幼稚園教諭や保育教諭として3年以上の教職経験を有している人も、小学校教諭2種免許状の所要資格を取得できます(小学校教員養成特別コースの学生は中学校教諭2種免許状の所要資格が取得可能)。本プログラムの受講者は、学部の教職課程を履修します。大学院生が履修しやすくなるよう、多くの授業科目はオンライン(原則オンデマンド)方式での開講となります。また、教職大学院(専門職学位課程)の共通基礎科目では、小中連携教育の理解を深めるための教職科目を開設しています。

3つのユニットと対象コース等 本プログラムには次の3つのユニットがあります。

- ▶ 小学校ユニット(昼間クラス)…小学校教諭2種免許状を取得可能
- ▶ 中学校ユニット(小学校教員養成特別コース)…中学校教諭2種免許状(国・社・数・理・英いずれかの教科)を取得可能
- ▶ 現職ユニット(昼間・夜間クラス)…小学校教諭2種免許状を取得可能 免許法第6条別表8適用者

対象コース等			受講可能な ユニット	大学院入学前に取得 (取得見込み含む)が必要な教員免許状
専門職学位課程	▶ 教育方法・生徒指導 マネジメントコース ▶ 言語系教科 マネジメントコース ▶ 社会系教科 マネジメントコース ▶ グローバル化推進 教育リーダーコース	教職経験のない人等 ※1	小学校ユニット	中学校教諭免許状
		教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット	
	▶ 理数系教科 マネジメントコース ※3	教職経験のない人等 ※1	小学校ユニット	中学校教諭免許状
		教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット	
	▶ 小学校教員養成特別コース	3年制コース	中学校ユニット	—
		2年制コース		小学校教諭免許状
	▶ 学校教育コース	教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット	中学校教諭免許状
修士課程	▶ 全専攻・コース	教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット	中学校または幼稚園教諭免許状

※1…教職経験3年未満の人を含みます
※2…現職ユニット受講者は、中学校教諭として3年以上の教職経験(講師としての経験を含む)がある人が対象となります
なお、修士課程については、幼小連携教育にも対応できるよう幼稚園教諭または保育教諭として3年以上の教職経験(講師としての経験を含む)がある人も受講対象とします
※3…理数系教科マネジメントコースの学生で理数系教員養成特別プログラムを受講する人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません

修得単位数の目安(教職大学院の場合)

	小学校ユニット受講者	中学校ユニット受講者 (小学校教員養成特別コース2年制コース)	現職ユニット受講者 (実習免除が適用された場合)
教職大学院修了要件単位数	46	46	36~42
各ユニット科目単位数	41	39~45(教科により異なります)	14
計	87	85~91	50~56

申請方法

本学大学院出願時に、「小中連携教育プログラム受講申請書」を出願書類とともに提出してください。
入学後の申請はできないため、必ず出願時に併せて提出してください。詳しくは、大学院学生募集要項をご覧ください。

Q&A

- Q.1** 中学校教員を目指していますが、小学校免許も本当に必要でしょうか。

A.1 義務教育学校、小中一貫型小・中学校の設置が急速に進められていることや少子化により、義務教育の9年間を見通した児童生徒の指導ができる教員が求められています。そのため、今後は両方の免許を取得することが望ましいと考えられています。
- Q.2** 小・中両方の免許を持っていると採用試験で有利になるのでしょうか。

A.2 免許の組み合わせはさまざまですが、複数の学校種・教科の教員免許状を取得している人に対して、採用試験で加点措置等を取っている自治体は全国で39ありました(令和元年度実施分:文部科学省調べ)。受験する自治体によっては有利になる場合があります。
- Q.3** 2種免許状では採用前・採用後で不利になるようなことはありませんか。

A.3 採用試験受験時および採用後の給与・処遇等においても不利になることは一切ありません。
- Q.4** 教職大学院と小中連携教育プログラムの単位を2年間で修得するのは大変ですか。

A.4 修得する単位は多くなりますが、2年間で計画的に履修することで十分修得可能です。
- Q.5** 音楽、体育や図画工作など実技が苦手ですが大丈夫でしょうか。

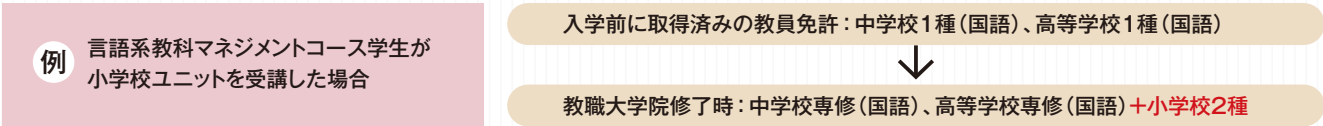
A.5 トレーニング室やピアノレッスン室など正課や課外で実技練習が可能な施設が充実しているので、実技が得意でない人も練習次第で克服可能です。また、小学校等の教員採用試験の実技試験対策の講座も開催しています。
- Q.6** 現職ユニット(小学校2種免許)の単位修得方法を教えてください。

A.6 中学校教諭(修士課程は幼稚園教諭または保育教諭含む)として3年以上の教職経験がある人について、小学校の各教科の指導法等14単位を修得することで小学校2種免許の所要資格が取得できます。幼稚園教諭の場合は、さらに道徳の理論および指導法(2単位)の修得が必要です。
- Q.7** 修士課程の学生で幼稚園教諭免許状を有し、幼稚園や幼保連携型認定こども園で3年以上の教職経験があれば現職ユニットを受講可能となっていますが、幼稚園教諭や保育教諭が小学校教諭免許状を取得するメリットは何か。

A.7 今日の幼児教育においては、「3つの資質能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が提示されるなど、小学校教育との学びの連続性が重視されるようになっていきます。本プログラムで小学校教諭免許状を取得することで、連携体制の構築や接続期を含めた教育課程の編成などに、これまで以上に実質的な裏付けを持って取り組むことができます。

【参考】専修免許状の取得について

各自がすでに所持している1種教員免許状を、専修免許状に上申することができます。



大学院修了者の初任給

大学院修了者は、大学卒業者より2万5,000円程度初任給が高くなります。生涯賃金を考えると、大学院を修了するメリットは給与面でもあるといえます。

【参考】令和2年度兵庫県教員の初任給

神戸市内の県立高等学校勤務者の場合

(大学院修了者) 26万7,529円 (大学卒業者) 24万2,439円

※金額は募集案内から

2

教育活動をマネジメントできる
教員の養成を目指して

教育方法・生徒指導マネジメントコースを設置

学校臨床科学コースを改組し、新たに教育方法・生徒指導マネジメントコースを設置します。本コースでは、学校教育実践上の課題の解決につな

がる理論や実践を幅広く学びつつ、以下3つのいずれかの分野・領域等に軸足を置いてその専門性を高めます。詳細はp.39を参照。

▶ 授業研究、カリキュラム・マネジメント、教授学習過程、教育評価 など

▶ キャリア教育、インクルーシブ教育、学級経営、生徒指導、教育相談、カウンセリング など

▶ 道徳、生活科、総合的な学習（探究）の時間、特別活動 など

3

働きながら明日に生かせる
理論と実践を学びたい人（現職教員）のために

教職大学院夜間クラスを大幅拡充

兵庫教育大学は、平成12年から働きながら学べる夜間の大学院を神戸市内で開設しています。これまでに1,000人を優に超える教員・社会人が学んできました。修了生は、学校や大学の教員として、また心理専門職や教育関連等の職場で幅広く活躍しています。このたび、さらに多くの現職教員が、日々の教育実践の中での課題の解決に向けて学校教育や教科教育の理論や実践を幅広く学べるよう、神戸ハーバーランドキャンパスに開設

している夜間クラスについて、新たに教職大学院（専門職学位課程）のコースを大幅に拡充します。自身が所属する専攻・コース以外の専門科目や修士課程の各コースの専門科目で履修可能なものも多くあるため、幅広く学ぶことが可能です。令和2年度から対面とオンライン授業（同時双方向・オンデマンド）を組み合わせたハイブリッド授業やハイフレックス授業を導入し、自宅や職場に居ながら学べる環境の構築を目指しています。

令和4年度からの夜間クラス開設コース

教職大学院（専門職学位課程）

学校経営コース	新規開設
教育方法・生徒指導マネジメントコース	新規開設
言語系教科マネジメントコース	新規開設
社会系教科マネジメントコース	新規開設
理数系教科マネジメントコース	新規開設
グローバル化推進教育リーダーコース	新規開設
学校教育コース	既設

修士課程

教育コミュニケーションコース
幼年教育・発達支援コース
学校心理・学校健康教育・発達支援コース
臨床心理学コース
芸術表現系教育コース
生活・健康・情報系教育コース

共通科目や共通基礎科目、各コースの専門科目等とは別に、夜間クラスの学生も受講可能な教育プログラムを開設しています。

特別支援教育プログラム	特別支援学校教諭（知的・肢体不自由・病弱）1種または2種免許状取得可能 ※1
小中連携教育プログラム（現職ユニット）	小学校教諭2種免許状取得可能 ※2

※1…免許申請に当たっては3年以上の教職経験が必要ですが、受講に当たっての制限はありません

※2…中学校教諭（修士課程は幼稚園教諭または保育教諭含む）として教職経験3年以上の人が対象、大学院選抜試験出願時に申請書の提出が必要です

大幅な施設拡充のため、令和5年10月に神戸ハーバーランドキャンパスを
神戸市長田区（JR新長田駅前）に移転する予定です。

※新キャンパスの詳細については、随時ホームページ等でお知らせしていきます

教員免許状を大学院で一から取得したい人へ

教員免許状を持っていなくても、これから教員を目指せます!!

大学(学部)で教職課程を受講しておらず、これから教員免許を取得して教員を目指す人に対して、長期在学や長期履修学

生制度により、教職大学院で3年間かけて教員免許の取得が可能なコース(プログラム)を設置しています。

小学校教員を目指す人

小学校教員養成特別コース(3年制コース) ※長期在学コース

3年間かけて教職大学院の教育課程と学部の教職課程(小学校1種対応)を履修し、修了時には小学校教諭専修免許状の所要資格が得られます。詳細はp.47を参照。また、小中連携教育プログラム

を履修することで、併せて中学校2種免許(国・社・数・理・英のいずれかの教科)の所要資格を得ることも可能です。

ここに注目!!

3年制コースではありますが、2年次までに小学校1種免許相当の単位修得が可能のため、2年次から各自治体等が実施する教員採用試験を受験することができます(大学院在学中に2回教員採用試験を受験する機会があります)。

2年次に教員採用試験に合格し、多くの自治体等で実施されている大学院在学者・進学者に対する特例制度(採用の延期など)を受けた3年制コースの学生は、3年次の授業料を全額免除します。

大学院在学者・進学者に対する特例制度とは…

教員採用試験合格者のうち、大学院に在学・進学する人に対して、採用候補者名簿登載期間の延長・採用の延期をするなどの特例的措置を各自治体が

実施するものです。大学院在学者は1年程度採用の延期等ができます。教員採用試験を実施している都道府県・市等が68ありますが、そのうち59の都道府県・市で大学院在学者・進学者に対してこの制度を適用しています。

中学・高等学校の数学または理科の教員を目指す人

理数系教科マネジメントコース(理数系教員養成特別プログラム) ※長期履修学生制度を活用した3年履修

3年間かけて教職大学院の教育課程と学部の教職課程(中学・高等学校1種対応)を履修します。修了時には、中学・高等学校教諭専修免許状(数学または理科)の所要資格が得られます。詳細はp.55を

参照。なお、理数系教員養成特別プログラムを受講する人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません。

Q&A

Q.1 長期在学制度とはどういうものですか。

A.1 長期在学制度が適用される小学校教員養成特別コース(3年制コース)は3年間の教育課程が編成されており、コース入学者全員が3年間在学します。そのため、3年分の授業料が必要になります。ただし、小学校教員養成特別コースの学生は、2年次に小学校1種免許相当の単位が修得可能なため、2年次に教員採用試験を受験することが可能です。2年次に教員採用試験に合格し、各自治体の採用猶予を受けた人は3年次の授業料を全額免除します。

Q.2 長期履修学生制度とはどういうものですか。

A.2 理数系教科マネジメントコースの入学者で、理数系教員養成特別プログラムの受講を希望する人について適用さ

れます。2年の標準修業年限を1年延長し、理数系教員養成特別プログラムを受講します。2年分の授業料で3年間修学することができます。

Q.3 小学校教員養成特別コースへの入学を希望していますが、出身大学(学部)では卒業論文が課されていなかったため、教職大学院の「教育実践研究報告書」が作成できるか不安です。

A.3 小学校教員養成特別コースは、レポート作成法、教育実践研究法、アクション・リサーチなど「教育実践研究報告書」の作成に必要な基礎的な知識や技能を修得する科目が開設されています。また、指導教員から個別の指導も受けられるので、卒業論文作成の経験がない人も安心してください。

教職の勉強とピアノ演奏を 両立できる素晴らしい環境で 実践力が身に付きました

他大学 → 兵教大大学院 → 公立中学校教員

芸術系教育コース(音楽) 令和2年3月修了 神野有香さん

兵教大に入学した理由

大学でピアノを専攻し、ピアニストを目指して留学の準備を進めていたものの、将来への不安から進路に迷いもありました。そんな時に地元の中学校で教育実習をしたのをきっかけに、教員になりたいという気持ちが芽生えました。ただ、教えるための知識も力も足りないため、基礎を身に付けたいと大学院進学を考えました。たまたま母の知人だった大学関係者から、兵教大は教育を学べるのはもちろん、演奏活動も盛んだと聞き、さらに調べると現役で演奏活動をしているような先生もいることを知り、すぐに受験を決めました。

ココが良かった！

音楽教育について深く学べただけでなく、特別支援学校教諭の免許状取得に必要な授業も取っていたので知らなかった分野も勉強できました。ピアノ演

奏についても、本格的なレッスンを受けられた上に24時間いつでも練習室のピアノを使える環境で、学びと演奏の両方が充実していた点は本当に良かったです。また、教員採用試験対策へのバックアップ体制も素晴らしかったです。教職キャリア開発センターに毎日のように通い、1対1で模擬授業や場面指導をするたびに的確なアドバイスをいただいたおかげで無事に合格できました。

実感！自分の成長

大学院に入ってから、ピアノ演奏や音楽をより好き

になりました。歌が得意ではなく高音が出なくて悩んでいたのですが、歌唱授業での指導がすごく分かりやすく、先生の一言によって自分でも不思議なほど高音で歌えるようになりました。「私も生徒にこういう体験をさせてあげたい」と思いましたし、曲の背景など、教材に関して教わった知識は今、そのまま授業で使わせてもらっています。説明して「そうなんや!」と生徒の目がきらっと光ったときなどは、教える喜びを感じます。

進学を考えている人へのメッセージ

芸術系コースでは教職の勉強と実技面のどちらも充実していて、実践力が身に付きます。同級生には現職の先生たちもいて、経験に基づくテクニックや考え方を日常的に聞くことができるのも、兵教大ならではの魅力です。今どきの生徒たちの様子や部活動の実情などあらゆることを尋ね、働く前からイメージを膨らませることができました。

Profile

3歳でピアノを始め、大阪音楽大学時代にはドイツへの短期留学も経験。平成30年3月に卒業後、同年4月に兵庫教育大学大学院に入学し、木下千代教授のゼミに所属。令和2年3月の修了後は加古川市内の中学校に音楽科教員として着任。2学年11クラスの授業を受け持った。



充実した教育内容のおかげで 学んだことがまさに今 生きています

他大学

→ 兵庫県立高校教員・教育委員会

→ 兵教大大学院

→ 兵庫県立高校教頭

学校経営コース 令和2年3月修了 木澤直子さん

兵教大に入学した理由

平成26年に兵庫県から米国ワシントン州の公立高校へ交換教員として1年間派遣された時の経験が根底にあります。その学校では教員の約7割が大学院を修了しており、30代から管理職にチャレンジするような環境で、非常に刺激を受けました。いざ自分が管理職になるに当たり、学校経営については素人なので専門的に学べばと派遣制度に申し込みました。兵教大を選んだのは、学校経営において日本をリードするような教員陣がそろっていること、教育行政と学校教育現場の組織改革という両面から学べることに魅力を感じたからです。

ココが良かった！

教員陣が地域や学校などでいろいろな役をされてい

るので、教育委員会の研修や学校の評議員会など、さまざまな所にフィールドワークとして同行させてもらえた点です。なかなか行けないような場ばかりで、貴重な経験でした。また、同級生には県外の教員や、教育委員会で長年働いてきた人もいたので、他県の教育や異なる立場の人の考え方を知ることができ、勉強になりました。学内のベストクラスを選ぶFD活動に参加し、選出された授業の担当教員や受講生にインタビューなどをしたのも興味深かったです。

実感！自分の成長

修了直後、初めて教頭に就いた途端にコロナ禍に見

舞われました。毎日が問題の発生・解決の連続という慌ただしい日々の中、課題解決に至るためのヒントなど学んだことが生きています。先生方の熱意と協力のおかげで危ぶまれていた学校行事も全て実施。特に、体育祭はヴィッセル神戸の厚意によりノエビアスタジアム神戸で開催でき、生徒たちに最高の思い出をつくってあげることができました。今後も気働きを大切に、粘り強く取り組んでいきたいです。

進学を考えている人へのメッセージ

大学院での2年間は、ギフトのようなものです。教員陣には丁寧に見ていただき、他の大学院では受けられないような充実した教育内容に満足しています。自然豊かな環境の中、研究したいことにじっくり専念できるので、職場に復帰してからそのお返しをしていただければと思います。

Profile

神戸大学教育学部を卒業後、英語教員として兵庫県立小野高校に着任。県立加古川東高校在職中に神戸市外国語大学大学院へ進学し教科教育の専門性を磨く。平成30年、県教育委員会の現職派遣制度を利用して兵庫教育大学大学院に入学し、當山清実教授のゼミに所属。令和2年3月の修了後、県立兵庫工業高校に教頭として赴任。

現職教員が兵庫教育大学大学院で学ぶ方法

公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、教育委員会や教育センター等で教育行政に携わる指導主事などが、教員の身分を有したまま学び、学位を取得することができます。詳しくは、所属する都道府県または市町村の教育委員会へご相談ください。

① 都道府県等教育委員会からの派遣

全国の都道府県等教育委員会から派遣された現職教員が学んでいます（令和2年10月1日現在127人）。

② 市町村教育委員会等の研修計画により派遣

市町村教育委員会等から、指導主事等の身分で大学院に研修派遣を行っている場合があります。

③ 大学院修学休業制度を利用

大学院修学休業制度を利用すれば、最長3年間休職できます（令和2年10月1日現在12人）。

④ 働きながら夜間クラスで学ぶ

人間発達教育専攻および教育実践高度化専攻で開講しています。

取得できる資格

教員免許状

専修免許状を取得できます。(注2)

課程	専攻	コース	取得できる教員免許状の種類	
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース		幼小中※1高※2
		臨床心理学コース		
		幼年教育・発達支援コース		幼小
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース		幼小中※1高※2養
		芸術表現系教育コース	(音楽)	幼小中(音楽)高(音楽)
			(美術)	幼小中(美術)高(美術、工芸)
		生活・健康・情報系教育コース	(保健体育)	幼小中(保健体育)高(保健体育)
			(技術)	中(技術)高(工業)
			(家庭)	小中(家庭)高(家庭)
			(情報)	幼小中※1高※2
	特別支援教育専攻	障害科学コース		特別支援学校教諭専修免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 特別支援学校教諭1種・2種免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者)(注3)
		発達障害支援実践コース		特別支援学校教諭専修免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 障害科学コースの授業科目を受講することで、特別支援学校教諭1種・2種免許状を取得できます(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)(注3)
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース		幼小中※1高※2
		教育方法・生徒指導マネジメントコース		
		理数系教科マネジメントコース	(数学)	
		小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)		
		グローバル化推進教育リーダーコース		
		教育政策リーダーコース		
		学校教育コース		小中※1高※2
		言語系教科マネジメントコース	(国語)	
			(英語)	
		社会系教科マネジメントコース		
理数系教科マネジメントコース		(理科)		

幼…幼稚園教諭専修免許状 小…小学校教諭専修免許状 中…中学校教諭専修免許状 高…高等学校教諭専修免許状 養…養護教諭専修免許状

※1…国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教の免許教科を示します
※2…国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、農業、工業、商業、水産、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教、情報、福祉の免許教科を示します
注) 1. 授業科目は、特別支援学校教諭1種・2種免許状の対応科目を除き、全て専修免許状の取得に対応しています。1種・2種免許状の取得には使用できません。
2. 専修免許状を取得するためには、取得を希望する専修免許状に対応した1種免許状を所有していなければなりません(小学校教員養成特別コース(3年制コース)については、入学時に小学校教諭の免許状を所有していなくても、小学校教諭専修免許状を取得することが可能です)。
3. 特別支援学校教諭1種・2種免許状を取得するためには、幼・小・中・高いずれかの普通免許状を本学大学院に入学するまでに所有していなければなりません。なお、教育実習(特別支援学校)は、特別支援教育専攻に所属する学生のみ履修が可能です。そのため、特別支援教育専攻以外の学生で取得を希望する方は、次のようになります。
①3年以上教員として勤務経験がある方については、教育実習を除く所定の単位を修得することで取得が可能です。
②3年以上教員として勤務経験のない方については、修了時には取得できませんが、教育実習を除く所定の単位を修得し、修了後に勤務経験年数を満たせば取得可能です。
4. 他の専攻・コースの授業科目の単位を修得することで、所属コースでは対応していない免許状を取得することが可能ですが、所定科目の履修機会を保障するものではありません。

その他の資格

心理系の資格等の受験資格も取得できます。

取得できる受験資格	対象コース等	概要
公認心理師	臨床心理学コース (昼間クラス)	平成29年9月15日に施行された公認心理師法に基づく国家資格です。保健医療・福祉・教育その他の分野において、心理に関する支援を要する人やその関係者に対し、心理状態の観察・分析、相談・支援・援助などを心理学に関する専門的知識と技術をもって行います。また、心の健康に関する知識の普及を図るための教育や情報提供も行います。公認心理師試験の受験資格を得るためには、学部で所定の科目を修めている必要があります(大学学部における要件充足の有無については、ご自身で在学または出身大学にご確認ください)。 厚生労働省 公認心理師 検索
臨床心理士	臨床心理学コース (夜間クラス)	(公財)日本臨床心理士資格認定協会が認定する資格で、有資格者は「心のケアの専門家」として、教育、医療、福祉、司法、産業などの活動領域で活躍しています。臨床心理学コースは、臨床心理士の受験資格が得られるコースとして同協会から1種指定大学院として指定を受けています。 ※昼間クラスの学生は、夜間クラスの授業を履修することで公認心理師と併せて臨床心理士の受験資格取得が可能です 日本臨床心理士資格認定協会 検索
学校心理士	教育コミュニケーションコース 幼年教育・発達支援コース 学校心理・学校健康教育・発達支援コース 特別支援教育専攻 (原則、障害科学コースのみ)	本学での条件を満たした人は、学校心理士資格を類型Iで申請できます。なお、資格認定には指定された科目の履修に加え、筆記試験とケースレポートの審査に合格する必要があります。 学校心理士認定運営機構 検索
認定カウンセラー	学校心理・学校健康教育・発達支援コース 教育方法・生徒指導 マネジメントコース	日本カウンセリング学会がカウンセリングについての一定の学識と技能を有する会員に付与するものです。 日本カウンセリング学会 検索
臨床発達心理士	幼年教育・発達支援コース 学校心理・学校健康教育・発達支援コース 特別支援教育専攻	(一社)臨床発達心理士認定運営機構が認定する資格です。発達の観点から障害、社会適応などの問題を査定し、子どもから大人まで生涯にわたり人間の多様な育ちを支援します。 臨床発達心理士認定運営機構 検索
特別支援教育士	発達障害支援実践コース	LD・ADHD等のある子どもへのアセスメントや指導における専門資格です。発達障害支援実践コースは、コース認定を受けており、受験に必要なポイントの振り替えを受けることができます(36ポイント中、30ポイントまで)。 特別支援教育士資格認定協会 検索

※単位、科目など所定の要件を満たすことが必要ですが、複数の資格取得を目指す場合など、所定科目の履修機会を得られない場合があります

※詳細は各協会等のウェブページまたは本学ウェブサイトの各対象コースの「取得できる教員免許状と資格」ページでご確認ください

教育にとって
本質的なものを探究する

修士課程

授与される学位…修士(学校教育学)

多様化する学校教育の
諸課題と向き合い究明する

人間発達教育専攻

こんな人を募集します!

教育コミュニケーションコース 昼 夜	教育という営みを成立させているさまざまな要因について、哲学、歴史学、社会学、心理学の観点から、多元的かつ総合的に研究します。	広く教育を問いたい人
幼年教育・発達支援コース 昼 夜	幼年期の教育、心理、保育内容、福祉、子育て支援について教育・研究を行い、総合的な教育・発達支援を進めていく専門性を高めます。	幼児教育・保育関係者 子育て支援関係者
学校心理・学校健康教育・発達支援コース 昼 夜	子どもの成長や発達ならびに健康を総合的に支援・教育できる教員や専門家を育成します。	学校・教育関係者 保健・福祉領域関係者
臨床心理学コース 昼 夜	生涯発達のさまざまな段階における心の問題にアプローチする専門家を養成します。	臨床心理士を目指す人 公認心理師を目指す人
芸術表現系教育コース 昼 夜	音楽と美術の芸術教育に関わる諸事象について、理論と実践の両側面から探究し、論理的・創造的な実践力を備えた人材を育成します。	芸術系教員 芸術関係者 教員志望者
生活・健康・情報系教育コース 昼 夜	生活、健康、情報ならびに関連する教科に関わる高度な知識と技能を学び、応用的な実践や社会実装ができる人材を育成します。	生活・健康・情報関係者 家庭・技術・情報・保健体育教員 教員志望者

● … 加東キャンパス ● … 神戸ハーバーランドキャンパス

障害のある幼児・児童・生徒等への
専門的・総合的な支援力・実践力を高める

特別支援教育専攻

障害科学コース 昼	多様な教育的ニーズのある児童生徒に対応できる総合的な専門性に裏付けられた支援力(実践、連携、研究)を育成します。	特別支援学校教員 特別支援学級担任 教員志望者
発達障害支援実践コース 昼	学校(通常学級、通級指導教室、校内における特別支援教育体制)や地域における発達障害支援のための実践力を育成します。	発達障害支援の人材 特別支援学校教員 特別支援学級担任 教員志望者

● … 加東キャンパス

修了に必要な単位

修士課程		合計単位数	最低修得単位数
共通科目	2単位以上	26単位	32単位 ※
専門科目	16単位以上		
探究力を養成する課題研究	各自の研究課題に応じ、担当教員の指導の下に8単位		

※合計単位数26単位と最低修得単位数32単位との差6単位は、共通科目、専門科目(修士課程においては、自身が所属するコース以外で開設する科目を含む)および交流科目のうちから修得するものとします。なお、外国人留学生については、外国人留学生専門科目からも修得できるものとします

学びのプロセス

課題研究(修士論文作成)の流れ

1年次	5月まで	指導教員(ゼミ)を決定
	5月以降	研究テーマを設定し、順次、先行研究・文献の調査、実践研究、学会等での研究
2年次	6月	中間発表(研究の動機と目的、研究方法、章立て、参考文献)
	11月	論文題目の最終決定
	12月中旬	提出締切▶修正の上、1月中旬に審査委員に提出
	2月初旬	修士論文口述試験▶修正の上、最終原稿を提出



学校心理・学校健康教育・
発達支援コース
令和3年3月修了
／大学教員

岡野由美子さん

フォントの読みやすさが 読解に及ぼす影響に関する研究

私は、学習障害に関する研究をしたいと思っていました。入学後すぐのオリエンテーションで先生方の研究について直接お聞きする機会があり、先生の研究テーマが、私自身のテーマと重なる部分だと感じて五十嵐ゼミを希望しました。UDフォントは、読み書きに困難のある児童から読みやすいといわ

れているフォントです。学校の先生方の少しの手間が支援になるのなら、こんなにリーズナブルな配慮はないのではないかと思います、研究テーマとしました。

ゼミにおいて先行研究を読み、研究計画や内容についてさまざまに丁寧に指導をいただき、固めていきました。2年生になりすぐに調査をと思っていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による学校の臨時休業のため、数カ月研究を進めることができませんでした。内容自体の変更も考えましたが、7月に学校が再開、短い夏休みの後、やっと具体的に動き出すことができました。事前に教育委員会や校長先生に説明に上がりました。長い臨時休業の後、さらに忙しい現場の先生方にご負担をかけられないという思いと、研究としてここは譲れないと思う部分のジレンマに、かなり悩みました。順調に進められたとは言えないですが、本研究を通してさまざまな方とのつながりや自分自身がさらに深めたいことを自覚することにつながったと思います。修了後もさらに深めていきたいと思っています。

岡野さんの2年間の学び

年次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	指導教員決定	研究課題の選定			情報収集(文献)・研究計画				中間発表	研究タイトル決定		
						情報収集(学会参加)						
2年次	研究計画の修正 情報収集(文献)	中間発表	倫理審査		情報収集 (フィールドワーク)	研究結果の 分析・考察	中間発表	論文作成		論文提出	論文審査	



障害科学コース
令和3年3月修了
／特別支援学校教諭

本田智尋さん

研究活動を通して学び得たこと —応用行動分析学を視座として—

学校現場で行動問題や不登校児童生徒に関わった経験から、特別な教育的ニーズのある子どもたちを支援する上で、その特性に配慮した適切な人的・物的環境を整えることがとても重要であると考えていました。本学に入学し、井澤ゼミで学ぶことで、環境と個人の相互作用を重視し、機能的アセスメ

ントに基づいて支援を考える応用行動分析学の理論について体系的に理解を深めました。そこで、このような行動理論を基礎に置いた行動コンサルテーションをテーマとし、有効な支援の在り方を研究の中で明らかにしていきたいと考え、研究課題を設定しました。

研究を進めていく上で大切にしたのは、自身の研究課題に関連する文献や資料を読み込み、まだ示されていない見解や理論について検討することを意識した点です。また、学校への介入・調査により得られた資料やデータについては慎重に取り扱う等、倫理面で配慮することを心掛けました。子どもたちの行動変容だけでなく、教員や校内組織への支援という視点からも、行動コンサルテーションの有用性について研究成果を得ることができたと感じています。そして、この研究活動を通して、先行研究から得た知見を根拠としながら、研究デザインをしっかりと組み立て、さまざまな視点から論理的・計画的に取り組んでいくことの大切さを学びました。

本田さんの2年間の学び

月		本田さんの2年間の学び											
年次		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次		指導教員 決定	研究課題の選定	情報収集(文献・資料)				研究Ⅰ介入・調査		テーマ発表	介入・調査		
2年次		研究Ⅰ結果の分析・考察	第1回中間指導	研究Ⅱ介入・調査				第2回中間指導	研究Ⅱ結果の分析・考察				
		情報収集(文献)						研究タイトル決定	論文作成	論文提出	論文審査		

学生の時間割を公開！



教育コミュニケーション
コース2年(昼間)
／看護教員・看護師

深田美香さん

「教える」「学ぶ」を見つめ直す

私は、看護教員として看護師を目指す学生に看護の面白さや看護とは何かを教えてきました。その中で、「教える」「学ぶ」ということは何かについて深く考えてみたいと思い、入学しました。授業科目は自分が興味のあるもの、教育コミュニケーションに関連した内容を時間割で選択しました。私は精神看護学を教えているので、心理学系が多くなっているかもしれません。「教育コミュニケーション論」「教育コミュニケーション実践論」はもちろんです、「教えと学びの心理学」「多文化共生の社会学」は自身の考えの幅が広がりを実感できる科目です。時間割には少し余裕がありますが、その分深く考えることができていると感じています。

1年次の授業スケジュール(令和2年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	教育の歴史と教育理論の展開		子どもの発達と学校の関わり	
	2	ゼミ	教育コミュニケーション論		
	3		多文化共生の社会学		
	4				
	5				
後期	1			保健医療分野に関する理論と支援の展開(児童青年精神病理学)	
	2		教育コミュニケーション実践論	子ども理解と学級経営の心理学	
	3			教えと学びの心理学	
	4			ゼミ	
	5				

集中講義：教師－子ども関係の思想、教えと学びの社会学、人間理解の心理学



発達障害支援実践コース
令和3年3月修了
／公立小学校教諭

田原有希さん

実践につながる学びとリフレクション

発達障害支援実践コースでは、カリキュラムから講義や実習方法を選択し、特別支援教育コーディネーター領域、通級指導教室領域、通常学級領域について学びます。コースの特徴として、地域の学校における長期実習があり、1年目の「基礎実習」では対象児童生徒の個別指導、2年目の「課題実習」では研究の実践を行います。私の場合は、実習や研究の実践のために必要な授業に加え、特別支援学校教諭1種3領域の免許状と特別支援教育士の資格取得のための授業も履修し、さまざまな専門分野の先生方から、幅広く学ぶことができました。多忙な毎日でしたが、自分の研究を深める時間や仲間との交流、実践とリフレクションを行う毎日が、自身の成長につながったと感じています。

1年次の授業スケジュール(令和元年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	教育の歴史と教育理論の展開		子どもの発達と学校の関わり	発達障害支援基礎実習
	2			特別支援教育リーダーのための創発的コミュニケーション	発達障害支援基礎実習
	3	特別支援教育論文購読と研究方法	特別支援心理学研究方法演習	コーディネート概論	
	4	発達障害支援アセスメント演習	発達障害研究	ゼミ	学習障害児指導法演習
	5	発達障害支援アセスメント演習	肢体不自由児指導論	ゼミ	障害者福祉論
後期	1				
	2	特別支援教育史	言語・コミュニケーション指導法演習	行動支援法演習	発達障害支援基礎実習
	3		障害児教育基礎技能	発達障害支援ケース実習	特別支援教育授業方法論
	4	発達障害支援ケース実習	ゼミ	発達障害支援ケース実習	家族支援心理学
	5	発達障害支援ケース実習	ゼミ		

集中講義：障害児診断学、個別の指導計画演習、特別支援教育総論、特別支援教育と通常学級の授業づくり・学級経営



幼年教育・
発達支援コース(夜間)
令和3年3月修了
／公立認定こども園副園長

廣岡佐知子さん

学び直しと実践につながる研究

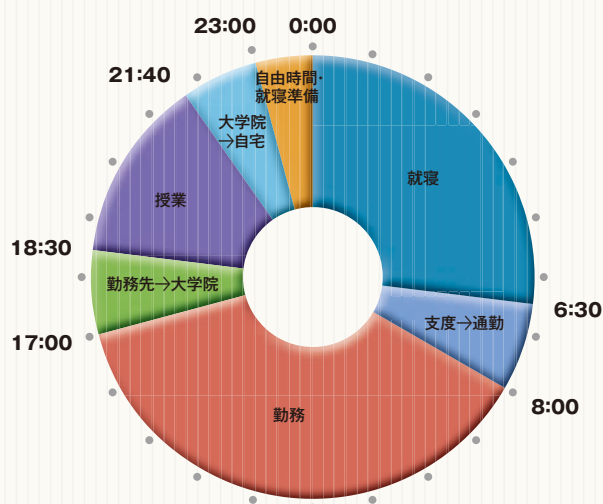
大学院にはさまざまな分野の魅力的な授業があり、あれもこれも受講したいと思っていました。しかし、夜間クラス生は仕事との両立のため、授業を選択しなければなりません。そこで私は、1年次は仕事の許す範囲で授業を取り22単位、2年次は4単位を取得しました。そして研究は、教育現場での経験はあるとはいえ本格的な研究活動は未熟な状態でした。指導教員の下、1年次は年齢も経歴もさまざまな仲間と議論しながら進めていくことで新たな発想や深い学びを想像することができました。そして、2年次は問題意識を持ち、学ぶ喜びを味わいながら研究に臨みました。平日は毎日1時間、休日はじっくりと研究に取り組むことができました。大学院は貴重で充実した学びの場でした。

1年次の授業スケジュール(令和元年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	幼児の生活と表現	幼年期の心理学方法論(質的研究法)	教育の歴史と教育倫理の展開	
	7	幼年期の子育て支援演習ゼミ	幼年期のカリキュラム論と保育・教育方法		
後期	6	幼児の生活論演習	子育て相談支援論		
	7	子育て支援総合研究	子ども家庭福祉論演習	ゼミ	

集中講座：情報のモラル教育と学校のセキュリティ、衣生活の科学と文化

授業がある日の1日



学校心理・学校健康教育・
発達支援コース(夜間)
令和3年3月修了
(長期履修学生)
／小学校教諭

中村佳世子さん

世界観が広がる学び

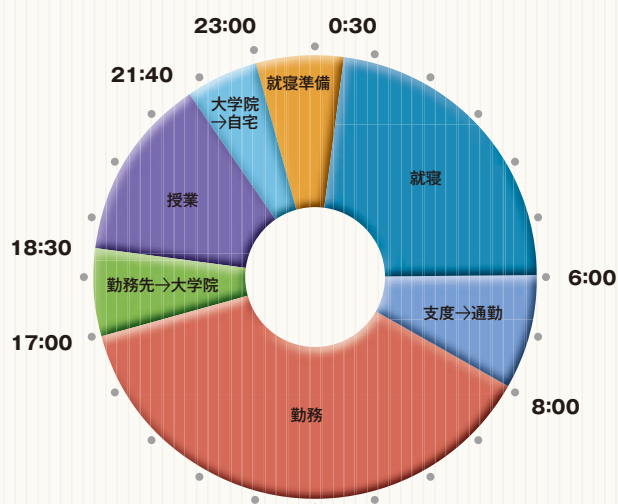
進学を決めた時、本当に3年間頑張れるのか不安しかありませんでしたが、いざ入学してみると、週2日の授業と集中講義で無理をせずに履修していくことができました。たまった仕事は残りの3日間でとメリハリをつけることで、かえって効率的だったように思います。同僚の先生には迷惑をかけたのですが、応援してもらえたことが、私にとって気持ちの支えになりました。講義はどの内容も興味深く、特に「心理学」では、知りたかったことばかりで、すぐに実践で生かせることが楽しかったです。また、経験豊かな先生方から、授業や研究以外にも、日々の実践についてのアドバイスもいただきました。この3年間で新しい世界観が広がりました。本当に感謝しています。

1年次の授業スケジュール(平成30年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	心理統計研究		子どもの発達と学校の関わり	
	7	心理統計研究		ゼミ	
後期	6	学校臨床心理演習	子ども理解と学級経営の心理学		
	7	発達アセスメントと支援	ゼミ		

集中講座：児童生徒の理解と教師の関わり、子どもの発達支援、情動・社会性発達支援研究、キャリアカウンセリング特論、発達・学習支援特論

授業がある日の1日



教育コミュニケーションコース

“かかわり”から教育を見つめ直す

今 社会のあらゆる領域でコミュニケーションの重要性が叫ばれています。とりわけ、教育においては、その諸問題がコミュニケーションの問題という観点から語られる傾向にあります。しかし、そこでコミュニケーションのハウツーのみを覚えても限界があります。教育は人と人のかかわり、人と社会とのかかわりの中で成立するものです。それゆえ、教育の本質的な課題に取り組むためには、まず“かかわり”、すなわち関係性という点について深く考察することが不可欠です。

このコースでは、教育という営みを成立させているさまざまな要因について、哲学・歴史学・社会学・心理学の観点から、多元的かつ総合的に研究を行います。それらを通して、これまでの教育観や教育システムを問い直し、より良い教育コミュニケーションのモデルを探究します。



主な修士論文のテーマ

- ▶ 近代的教育と「母親」像の形成過程に関する一考察—『ははのつとめ』（明治23年）を手がかりに—
- ▶ 大正新教育の衰退と変容の諸相—関東大震災を契機とした教育言説の変容に着目して—
- ▶ 日本昔話にみる親子関係—『日本昔話通観』を手がかりに—
- ▶ 教室を多声的な場にする授業の研究—対話を促す教材／学習材としての古典に着目して—
- ▶ 子どもの興味を重視する学校教育の研究—セレスタン・フレネの「興味の複合」概念に注目して—
- ▶ 価値多元化社会における公共圏形成に関する研究—コミュニティ・スクールの理念と実際に注目して—
- ▶ 公立中学校教員が抱く多忙感の構造
- ▶ 韓国入母親の異文化適応に関する研究—言語・コミュニティ・家族に着目して—
- ▶ 中国内モンゴル人青年の民族アイデンティティの諸相—出身民族への所属意識と行動面での表出をめぐって—
- ▶ 外国人留学生の就職決定への過程—TEAを用いたライフストーリーの分析から—
- ▶ 通訳者の視点から見る異文化コミュニケーション能力に関する研究
- ▶ 身近な他者との会話と高校生の進路成熟との関係—教育・職業・人生3側面についての検討—
- ▶ 分かりやすく楽しい漢文学習を援助する方略の探究—視聴覚教材を用いた中学校国語科の授業実践を通して—
- ▶ 操作性の高い教具を用いた支援が割合の認識変容に及ぼす影響
- ▶ 「深い学び」を実現するための「説明活動」の探究

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 吉國 秀人	心理学、 教育心理学、 教授学習過程	教えと学びの心理学	学校の授業場面とのつながりを大切に、実験的構想を駆使し、教授学習過程への理解を深めていきたいです。
 教授 中間 玲子	自己形成論、 青年期の発達	かかわりの発達心理学	人が生まれてから死ぬまでの時間について、種、個、関係、社会、歴史などを踏まえて考えていきましょう。
 教授 大関 達也	教育哲学、 解釈学、 教養論	教えと学びの哲学	文化的背景の異なる他者と共生する社会を築くために、対話による教養教育の可能性を探究します。
 准教授 平野 亮	教育学、 教育史、 教育思想	教育文化の歴史	過去を探り、現在(私たち)の自明性を問い直す歴史のアプローチから、〈教育〉について考察します。
 講師 坂口 真康	共生教育社会学、 南アフリカ共和国の 教育研究	多文化共生の社会学、 比較教育学	「常識を疑う」視点を持ちつつ、「共生社会」実現のための教育に関する議論を深めていきましょう。



教育コミュニケーションコースをイメージして描かれた絵

Voice

素朴な問いが
あか抜けるまで

教育コミュニケーションコース2年

高橋利明さん



教育って何だ?コミュニケーションって何だ?と、素朴な問いにつまずいたとき、教育コミュニケーションコースではその答えを教えてくれる…わけではありません。より広く、より深く学問の裾野を広げられ、先生方の知の宝庫に一度溺れ、苦しみ、もがくことになります。学ぶ者にとってこれほどの幸福はありません。

また、授業やゼミにおいても、自ら探究するような学びは飽くことも尽きることもありません。際限なく湧き出る好奇心を上回る無尽蔵な英智がここにはあります。だからこそ苦しい、大海を遠泳するような学びの営みはまさに教育コミュニケーションの真理なのかもしれません。

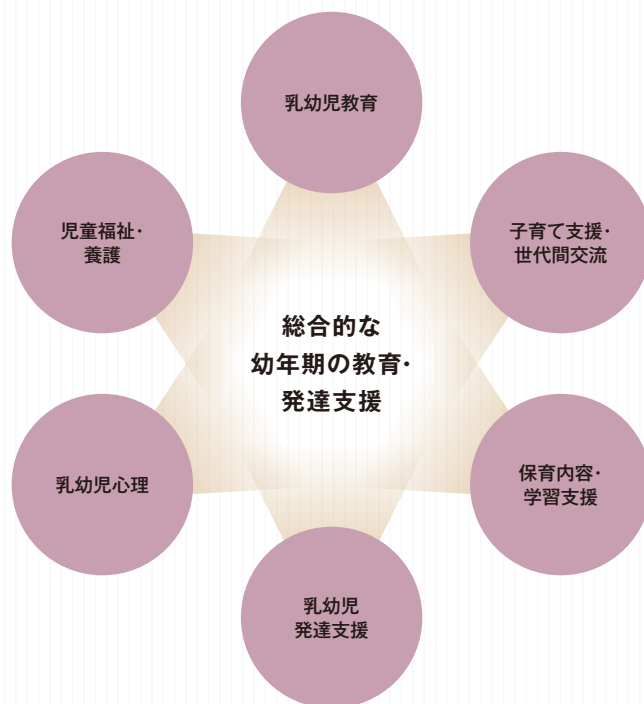
つまり、最高に楽しい日々なのです。

幼年教育・発達支援コース

幼年期の子どもとともに希望ある未来をつくる

幼年期は、遊びや生活の中の具体的な体験を通して生きる力の基礎を培い、その学びが小学校以降へとつながる重要な時期です。幼年教育・発達支援コースでは、現代にふさわしい幼年期の教育・発達支援の理論と実践の構築を目指しています。そのために、「乳幼児教育」「児童福祉・養護」「乳幼児心理」「乳幼児発達支援」「保育内容・学習支援」「子育て支援・世代間交流」の6分野から教育・研究を行い、総合的な教育・発達支援を進めていく専門性を高めます。さらに、本学の子育て支援ルームや地域の子育て支援施設での実践を通して、多様化する子育て支援の課題に対応するための専門性を身に付けた「子育て支援コーディネーター」を養成します。子どもとともにある今の生活にまなざしを向け、互いに手を取り合い、希望ある未来を切り開いていきましょう。

※子育て支援コーディネーター養成プログラムについてはp.56を参照



主な修士論文のテーマ

- ▶ 幼児期の遊びにおける「面白さ」の検討―「挑戦」と「回避」に着目して―
- ▶ ひとり遊びの内容と社会的遊びへの移行過程―3、4歳児の事例研究に基づいて―
- ▶ オノマトペ発話を通してみる幼児の意味世界―生成の論理から―
- ▶ 設定保育における幼児主体の活動を支える要因
- ▶ 保育者の言葉かけが保育の展開に及ぼす影響―保育者の子ども理解に着目して―
- ▶ 1歳児における秩序感の形成過程に関する事例研究―教材との関わり場面に着目して―
- ▶ こわい絵本の読み聞かせを伴う保育の展開―保育者へのインタビュー調査に基づいて―
- ▶ 親アイデンティティ形成に関する一考察―インタビューからの質的分析に基づいて―
- ▶ 子育て支援に向けた保育者へのペアレントトレーニング研修の効果
- ▶ 外国にルーツを持つ子どもが多い保育施設における食育の実践―管理職・保育者・給食担当者のインタビュー調査をもとに―
- ▶ 色覚異常に関する保育者の意識―検査経験と学習経験の有無に着目して―
- ▶ 家庭環境が幼児の運動経験に及ぼす影響―保護者の運動意識に着目して―

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 石野秀明	発達心理学、 教育心理学	乳幼児の発達と心理、 幼年期の心理学方法論 (質的研究法)	変化が著しい環境にあっても、子どもが生き生きと過 ごせるよう、掘るべき理論を共に探していきましょう。
 准教授 飯野祐樹	保育学、 幼児教育学	幼年期のカリキュラム論と保 育・教育方法、 幼年期の教育支援と職能開発	専門は幼児教育学です。「保育の質評価」を基幹とし、 カリキュラムや保育記録の国際比較を行っています。
 講師 水落洋志	保育内容学、 幼児教育学	幼児の生活と健康、 幼児の生活論演習	未来を担う子どもたちのために、理論と実践を融合す る力を共に高め合いましょう。

*専任教員が着任予定



子育て支援ルーム「かとうGENKI」



Voice

学びを地域で 生かすために

幼年教育・発達支援コース
令和3年3月修了
千葉友菜さん



乳幼児期のお子とおび子育てに関する知識や支援についてさまざまな視点から学ぶことができました。

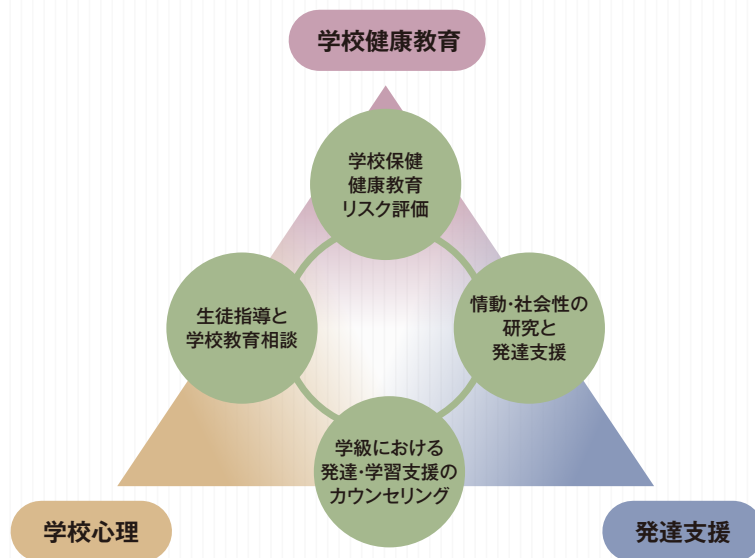
実習では地域の子育て支援拠点での支援の意義や特徴について学ぶことができたほか、その時のつながりからボランティア活動などにも参加しました。実際の子育て家庭との関わりは私の中で理論と実践を結び付けてくれ、何より子どもの笑顔に癒やされました。

本コースは先生方の研究室と学生の控室に近いこともあり、自身の研究から日々の小さな疑問まで、同期や先輩、先生方と気軽に話し合うことができます。そのため、私もたくさんの刺激を受け自身の研究に打ち込むことができました。これからは本コースでの学びを地域に還元していきます。

学校心理・学校健康教育・発達支援コース

ここからだの発達支援と教育を究める

学 校心理・学校健康教育・発達支援コースは、「学校心理」「発達支援」ならびに、「学校健康教育」の3つの領域にまたがるコースです。その中で①生徒指導と学校教育相談、②学級における発達・学習支援のカウンセリング、③情動・社会性の研究と発達支援、④学校保健安全と健康・ライフスキル教育、リスク評価を4つの柱として、児童生徒に対する心理教育的対応、予防的介入を含めた発達支援、学校健康・安全教育、リスク評価、校内連携など、学校内外の専門家や諸機関との協働ができる知識と実践力を養います。



授業 を クローズアップ!

健康教育を参加型で学ぶ

健康教育論

担当：西岡伸紀教授



健 康教育の有効性を高めるには、健康課題や防止方策に加え、意思決定やコミュニケーションなどの認知的スキルの学習が、また既存の知識や経験などを活用し解決策を模索する参加型学習などの多様な学習方法が有効です。そのような健康教育を体験的に学びます。

知能検査を体験して学ぼう

発達アセスメントと支援

担当：藤崎亜由子准教授

子 どもの「生きづらさ」を理解した上で、強みや課題を適切に評価し支援につなげていくためのアプローチについて学びます。実際に知能検査等に触れることで、検査が測ろうとしている能力やその限界について理解し、より良い教育的支援を構想する力を培います。



主な修士論文のテーマ

- ▶ 愛着に課題のある児童の学級適応感に関する研究
- ▶ 中国の経済状況が困難な地域で暮らす子どもに対するレジリエンス育成プログラムの効果
- ▶ 中学生のひきこもり親和性に関する研究
- ▶ 小学生におけるインターネット依存傾向とQOL及び睡眠習慣との関連
- ▶ 児童生徒の学校健康診断及びその結果に対する認識と活用
- ▶ 児童生徒の生活習慣改善の意思、取組、動機、方策などの実態及び認知的スキルとの関連性
- ▶ 他者受容をテーマとした絵本の読み聞かせによる心理的効果に関する研究
- ▶ 子どもの学業失敗場面における教師の知能観・失敗観と言葉かけとの関連
- ▶ 児童期における居場所感と自尊感情及び学校適応感との関連

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
	教授 西岡伸紀	学校健康・安全教育、 ライフスキル教育	健康教育論、 子どものリスクと安全教育	飲酒、薬物乱用等の危険行動の防止について、健康教育、ライフスキル教育の視点から取り組んでいます。
	教授 藤原忠雄	学校心理学、 スポーツ心理学、 学校教育相談	子どものメンタルヘルス、 教職員のストレスマネジメント	児童生徒・教職員のメンタルヘルス、メンタルトレーニング、学校教育相談の実践的研究に取り組んでいます。
	教授 秋光恵子	学校心理学、 社会心理学	子ども理解と学級経営の心理学、 心理統計研究法演習	子どもたちが認め合う学級経営や学校内外の連携・協働に関心のある皆さんとの出会いを楽しみにしています。
	教授 岡本 希	衛生学・公衆衛生学、 学校保健	衛生学・公衆衛生学研究、 学校保健研究	児童生徒が適切な時期に適正な生活習慣を身に付けるための教育について調査研究を行います。
	准教授 藤崎亜由子	発達心理学	発達アセスメントと支援、 情動・社会性発達論	人間・子どもの面白さを再発見し、教育や支援につなげるお手伝いができればと思います。
	准教授 細谷里香	発達心理学	子どもの発達支援、 発達・学習支援特論	認知・社会的発達と他者との相互作用に関心があります。発達や学習について多角的に研究したいと思います。

学校心理・学校健康教育・発達支援コースで得られる受験資格

所定の条件を満たすことで受験が可能になります。

- ▶ 学校心理士
- ▶ 臨床発達心理士
- ▶ 認定カウンセラー

Voice

「理論に基づく実践」を 学び深める!

学校心理・学校健康教育・発達支援コース
令和3年3月修了
西脇侑里さん



本コースは、自分のテーマについて深く掘り下げると同時に、学校心理・学校健康教育・発達支援という、子どもたちの支援を考える上で必要な3つの領域について、幅広く学ぶことが魅力です。授業では新しい知識を得るだけでなく、今まで経験に基づいて行っていた自身の実践を、理論と照らし合わせながら振り返り、学び直すことができます。

また、コースの先生方は、研究における悩みや疑問を親身になって受け止め、いつも丁寧に指導してくださいます。コースの現職教員や教員志望の学生と一緒に、多様なテーマについて議論し合うことで、新しい視点が得られさらに学びを深めていく毎日でした。大学院での学びと出会いに心から感謝しています。

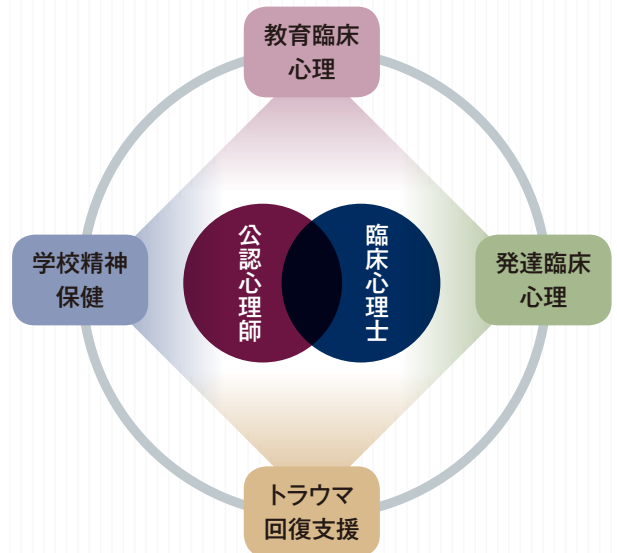
臨床心理学コース

学校で職場で地域で悩める人たちと共に考え、支援する人材を養成する

臨 床心理学コースでは、生涯発達のさまざまな段階における心の問題にアプローチする専門家を養成します。

心理職には、①面接や心理テストなどを用いた心理査定技術、②臨床心理面接援助技法を適用した的確な対応・処置能力、③地域の心の健康活動にかかわる人的援助システムのコーディネートやコンサルテーション能力、④心理臨床実践に関する継続的な研究と社会への還元が求められます。これらに精通するための基礎的な知識と技術を身に付けることを目指しています。

そこで、教育臨床心理、発達臨床心理、学校精神保健、トラウマ回復支援の4つの柱（分野）を設定し、その4つが協働して立体的なアプローチを行っています。教員の専門領域は、力動論的アプローチ、行動論的アプローチ、EMDRなど多様で、幅広い方法論を学べます。



臨床心理学コースは昼・夜両クラスともに神戸ハーバーランドキャンパスで授業を行います。
公認心理師を目指す学生も夜間クラスの授業を履修することで臨床心理士受験資格が得やすくなりました。

主な修士論文のテーマ

- ▶ マインドフルネス傾向とPTSD症状の関連—トラウマ関連の否定的認知や回避行動を媒介して—
- ▶ 初任心理職者のリアリティ・ショックに組織社会化が及ぼす影響の検討
- ▶ 年代別にみるキャリアビジョンとワークエンゲイジメント及び職業性ストレスの研究
- ▶ 発達障害のある子どもを育てる母親のPTGにおけるコーピングとソーシャルサポートの役割
- ▶ PBS（ポジティブ行動支援）を活用した校内支援体制構築が教師の支援行動に及ぼす効果
- ▶ 眼球運動が脅威刺激に対する注意に与える影響
- ▶ セクシュアル・マイノリティが性自認や性的指向をカミングアウトするに至るプロセス
- ▶ 日本語版IGTにおける健康群の類型化—潜在クラス分析及び成長混合モデルを用いて—
- ▶ 青年期におけるグループ箱庭心理教育プログラムの試み—対人恐怖心性に着眼して—
- ▶ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行による保育士の体験プロセスの検討
- ▶ ライフストーリーワーク実施者の内的体験過程に関する質的研究

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
教授 遊間義一	臨床心理学、 犯罪心理学、 心理査定	司法・犯罪分野に関する理論 と支援の展開、 臨床心理統計研究法	犯罪心理学と心理査定が専門です。犯罪原因論および投映法の一つであるTAT検査の研究を行っています。
教授 市井雅哉	臨床心理学、 認知行動理論、 EMDR	トラウマ回復支援論I・II	PTSD、ストレス、不安、うつなどの査定、効果的な対処方法、援助方法について研究しています。
教授 岩井圭司	精神医学、 精神保健学、 心的外傷(トラウマ)論	保健医療分野に関する理論と支援 の展開(児童青年精神病理学)、 心の健康教育に関する理論と実践	強くなくてもいい、弱さを抱えてしぶとく生きる、をモットーにしています。臨床も研究も、人生も。
教授 海野千畝子	子ども虐待対応臨床、 統合的心理療法、 動物介在療法	被害者の心のケア、 臨床心理基礎実習	現場に役立つ介入について研究しています。臨床技法には、解離に焦点を当てた心理療法を実践しています。
教授 遠藤裕乃	臨床心理学、 精神分析的心理療法	心理支援に関する理論と実践 I・II	精神分析的心理療法に家族療法、短期療法の技法を取り入れ、実効性のある心理支援モデルを探索しています。
准教授 嶋崎まゆみ	行動分析学、 応用行動分析	発達障害心理臨床特論、 福祉分野に関する理論と支援 の展開	知的障害や発達障害のある子どもの療育と、保護者や教員のサポートを行っています。
准教授 佐田久真貴	臨床心理学、 応用行動分析学	教育分野に関する理論と支援 の展開、 発達障害心理臨床特論	臨床技術の研鑽と、さまざまな専門家との協働を大切に、子どもたちとその周囲の人々への支援に取り組んでいます。
准教授 伊藤大輔	認知行動療法、 ストレス科学	臨床心理学特論、 心理支援に関する理論と実践I	実証的根拠に基づいた心理学的支援(被害者支援や復職支援、ストレスマネジメント等)を検討しています。
講師 上田勝久	臨床心理学、 精神分析的心理療法	教育相談論、 保健医療分野の理論と支援 (精神保健学特論)	力動的、精神分析的な実践知を、さまざまな現場で柔軟に活用していく方法について模索しています。
講師 永山智之	心理臨床学、 力動的的心理療法、 思春期・青年期の人格発達	臨床心理実習、 教育分野に関する理論と支援 の展開	①箱庭や描画、グループの現代的活用法②心理療法でのミクロな変化を捉える理論・技法を研究しています。
助教 池田浩之	障害者就労支援、 認知行動療法、 発達障害	産業・労働分野の理論と実践、 福祉分野の理論と実践	認知行動療法を通じた、精神障害や発達障害のある方々への就労支援を専門としています。

Voice

今、ここの学びを大切に。



臨床心理学コース2年

松本智子さん

臨床心理学コースの生徒はストレート学生、現職教員、他職種の方と多様なため、自然と教え合う雰囲気がつくられています。先生方の専門分野は多彩で、自分に合った分野を学ぶことができます。講義は、理論と実践の融合に加えて、資格試験を意識した内容も含んでいます。ゼミでは、描画療法、箱庭療法を教えていただき、スーパーヴィジョンもきめ細やかです。このような環境の中、今、ここの学びに感謝する日々を送っています。

多彩な学びと 唯一無二の専門性



臨床心理学コース

令和3年3月修了

柿木慎吾さん

本学の臨床心理学コースは全国でも珍しいほど臨床心理学を専門とする教員が多数在籍しており、学派を問わない学びが日々展開されています。私が所属する市井ゼミはトラウマ回復支援領域のゼミで、EMDRと呼ばれる心理療法を専門的に学びました。在学中の講義でEMDRを習得できるのは他大学にない特徴であり、学校教育臨床領域に限らず、トラウマ回復支援領域に関心のある方にとっても充実した学習環境が提供されています。

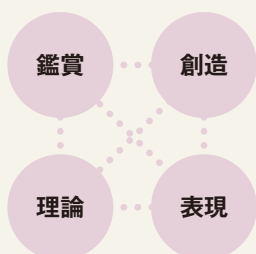
芸術表現系教育コース

芸術への理解と技能を深め新たなステージへ

芸 術表現系教育コースは、音楽と美術における芸術教育とこれに関わる諸事象を研究領域とし、表現や鑑賞の能力に関する総合的理解を基盤として、芸術教育に関する理論と実践の融合を目指し現代社会の抱える諸問題に対処するための教育研究を行っています。音楽分野は声楽、器楽、音楽科教育学等を柱に、美術分野は絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史学、美術科教育学等を柱に、それぞれ理論と実技の両面における創造的かつ実践的な研究に取り組みます。芸術棟には、視聴覚室、ML教室、合奏練習室、ピアノ練習個室、音響設備の整った講堂および絵画、彫塑、デザイン、工芸、窯芸、版画等の充実した実習室を完備しているほか、アート・ラボ、教材作成や授業研究のための演習室や院生研究室もあり、高度な演奏・制作・研究活動が可能です。



音 楽は、現代社会において見過ごされてきた感性の回復を目的とし「理論、創造、鑑賞、表現」という4つの視点に基づいて実践的な音楽教育の確立を目指しています。



美 術は、理論と制作の両面における創造的かつ実践的な美術教育の確立を目指し「かんがえる、つくる、みる、つたえる」という4つの作業を相互に関係付けながら新しい教育方法を探っています。



主な修士論文のテーマ

- ▶ 中学校音楽科における音楽的基礎力育成のための教材開発に関する研究—フォルマシオン・ミュージカルを視点として—
- ▶ 児童の表現力育成をめざす音楽指導に関する研究—小学校音楽科における表現活動の本質を求めて—
- ▶ 思いや意図を持った歌唱表現を育むための指導法—言語活動に着目して—
- ▶ 絵画を用いて「聴く」耳を育む小学校音楽科教材の研究
- ▶ 中学校音楽科における「永続的な理解」につながる学びと評価—「逆向き設計」と「汎用的能力」を用いた単元開発を通して—
- ▶ メディア・リテラシー教育におけるポスターデザイン学習の可能性
- ▶ 美術教育における学習者の発想支援方略に関する研究
- ▶ サム・フランシスの作品における独自性を形成する諸要素についての一考察—1950年代から1960年代の作品を中心に—
- ▶ 美術科教育におけるワークショップ型授業の可能性—協働学習の視点から見たワークショップ型授業—
- ▶ 協応諸感覚を適応させた総合的・領域横断的な芸術表現学習についての一考察—図画工作科と音楽科を関連づけた題材を通して—

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
音楽	 教授 新山真弓	ソルフェージュ、 ピアノ奏法研究、 電子オルガンに於ける 編曲・演奏	音楽理論の基礎Ⅰ (ソルフェージュ)	音楽科授業の歌唱教材やピアノ独奏曲等の音楽表現に直結した楽曲分析・演奏解釈の研究に取り組んでいます。
	 教授 河内 勇	器楽(クラリネット)、 吹奏楽指揮法、 合奏指導法	音楽表現の知識と技能Ⅲ(器楽)、 音楽表現の創意Ⅲ(器楽)	専門はクラリネット。高度な専門性を生かした個人指導から初級者のための集団指導まで幅広く研究しています。
	 准教授 岡本信一	音楽科教育学、 教育方法学、 カリキュラムデザイン	音楽科の教材開発と実践研究、 音楽科カリキュラム研究	音楽に対する子どもの認知過程を視点としたカリキュラム開発や授業研究を、学際的・実践的にを行っています。
	 准教授 野本立人	声楽、 合唱	音楽表現の知識と技能Ⅰ(声楽)、 音楽表現の創意Ⅰ(声楽)	声楽曲および合唱曲の演奏と解釈。発声技法の実践的研究。また、合唱指導法についても研究しています。
	 教授 河邊昭子	音楽科教育学		音楽科の授業構成論を踏まえ、実践的知識と実践的思考を伴う教材開発力の育成を目指します。
美術	 教授 高木厚子	図画工作科教育、 美術科教育	図画工作・美術科学習論、 図画工作・美術科教育研究	図画工作・美術科の授業および学習支援について、心理・認知過程に着目しながら研究・教育を進めています。
	 教授 喜多村明里	美学美術史学、 イタリア美術文化史	美術史学の基礎と批評、 美術批評と「鑑賞」教育	美術作品をめぐる感性と知性の融合と拡張、真の芸術体験と鑑賞批評の教育について、真剣に考えよう。
	 教授 村上裕介	彫刻 (彫塑、乾漆、木彫など)	造形活動の基礎Ⅱ(彫塑)、 造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	彫塑表現を通じて人と美術の関わりについて思索し、制作および伝える(教育)力の向上を目指します。
	 教授 大西 久	絵画 (素描、水彩、油彩画など)	造形活動の基礎Ⅰ(絵画)、 造形表現の知識と技能Ⅰ(絵画)	絵画における「描く」「見る」「考える」の意義と関係について、多様な視点と柔軟な思考で探究しよう。
	 教授 浅海真弓	工芸 (陶芸、立体造形など)	造形活動の基礎Ⅳ(工芸)、 造形表現の知識と技能Ⅳ(工芸)	工芸の実技と理論を担当。陶芸を中心に、工芸の素材・技法を用いた造形表現の可能性を探究しています。
	 教授 前芝武史	彫塑・デッサン、 美術解剖学	造形活動の基礎Ⅱ(彫塑)、 造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	彫塑教育論(特別支援教育含む)を研究しています。事象の本質を掘り下げた教育を行いたいと思います。
	 教授 垣内敬造	デザイン (CI、デザイン理論、デザイン史)	造形活動の基礎Ⅲ(デザイン)、 造形表現の知識と技能Ⅲ(デザイン)	歴史や理論からデザインや職業としてのデザイナーの概念を捉えた上で、実践に結び付けて体得します。

Voice

挑戦し、失敗から学ぶ2年間



芸術表現系教育コース(音楽)
令和3年3月修了
小椋伸人さん

教員人生20年、「挑戦することの大切さ」を生徒に伝えてきました。この2年間は、自分が挑戦し、失敗から学び、経験を知恵に変える体験ができました。

教育は「理論」と「実践」のバランスが大切ですが、今までの自分は「実践」という一輪車で突っ走ってきたことに気付かされました。「理論」を手に入れた今、自転車に乗り、生徒の元に戻る日が待ち遠しいです。

遠きに行くには必ず通きよす



芸術表現系教育コース(美術)
令和3年3月修了
長野沙紀さん

教員として働いている友人から話を聞くたびに、大学院で学ぶことは遠回りではないかと不安に思うことがありました。しかし自分と異なるさまざまな経歴の人と講義を受けたり、討論したりすることで多様性や新しい価値観を感じ、制作活動や研究に没頭したこの2年間は、これから始まる私の教職人生に必要な時間だと思っています。大学院での学びを糧に頑張ります。

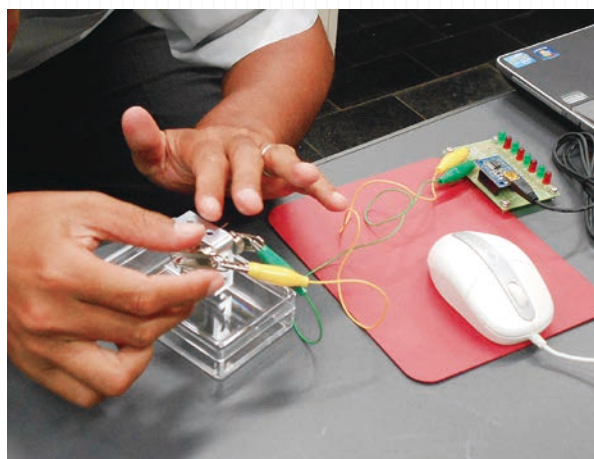
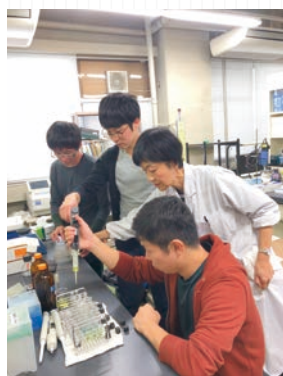
生活・健康・情報系教育コース

Imagination & Creation for Life — 想像から創造へ

生活環境の変化に対応するためには、「健康で豊かな生活を営む力」や「主体的に問題解決する能力」が求められています。このコースでは、これらの力を培うために必要な高度な知識と技能を身に付けるとともに、授業の内容と方法を開発・実践・省察することに取り組みます。

そして、保健体育、技術・家庭、工業、情報に関わる専門的な教科内容を学び、各教科の教育や授業の実践を深化させることを目指します。また、教科の枠を超えたスポーツ文化、食育、健康、環境、情報（ICT活用）、ものづくり等の複合領域についても教育・研究に取り組みます。健康教育について重点的に学びたい方のために、学校心理・学校健康教育・発達支援コースと連携した「健康教育実践プログラム」も開設しています。

合言葉は、“Imagination & Creation for Life”。想像したことは創造できる。幅広い研究を通して豊かなライフスタイルの実現を目指します。



Voice

研究と学びの2年間

生活・健康・情報系教育コース

令和3年3月修了

有村結依さん



管理栄養士免許取得後、調理学分野の研究と教育について学びたいと思い、大学院入学を決意しました。入学後は「調理方法別にみるキャベツの嗜好特性」というテーマで、野菜をよりおいしく食べる方法について研究しています。指導担当の先生からは、日々丁寧に熱心なご指導をいただき、毎日勉強になることばかりです。また本学では、現職の先生方や社会人経験のある方など多様な学生と交流を深めることができます。たくさんの刺激を受けながら勉強や研究に集中できる環境で生活することによって、専門分野での研究や教育において深く考え、視野を広げることができました。多くの学びと出会いをいただいた2年間に感謝しています。

Voice

現場での「なぜ」を解決する

生活・健康・情報系教育コース

令和3年3月修了

衣笠宏紀さん



「台上前転がうまくいったけどなぜかは分からない」「バスケットボールの試合でうまく得点が取れたけどなぜかは分からない」。これらは、現場でよく経験してきたことです。最終的には感覚的に捉え、はっきり解決しないまま終わってしまうことも多くありました。私は、ゼミでこの「なぜ」を解決するために、徹底して「問いを立てる」ことを指導していただきました。そして、「問い」を解決するために、運動に関する専門的知識を獲得したり、講義で学んだことを応用したりして、一つ一つ解決していきました。このように、大学院では、現場で分からなかった、「なぜ」を解決するための手立てを学ぶことができました。

Voice

充実した2年間に感謝

生活・健康・情報系教育コース

令和3年3月修了

福田綾香さん



私は教員採用試験に合格した時に、5年後には本学に入学することを目標にしていました。理由は、教員には豊かな経験、専門性が必要で、時代に合わせて自分の能力や視点を変化させる必要があると考えていたからです。入学後は、専門分野外の授業にも仲間と共に積極的に参加し、学校教育に必要な内容について幅広く学ぶことができました。本コースの魅力は、分野を越えて自分が学びたいと思ったことをしっかりと学べる環境が整っていることです。各地から集まったさまざまな考えを持つ仲間との出会いは私の宝物です。仲間と、ゼミの枠を超えて学びを応援してくださる先生方のおかげで、2年間に充実させることができたこと、心から感謝しております。

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 上原 禎弘	身体教育学、 体育科教育学	保健体育科授業研究、 保健体育科教材論	優れた体育授業の創造を目指し、教員の言語的相互作用や学習過程の組織化について実践的に研究しています。
 教授 森田 啓之	体育・スポーツ原論、 身体教育学	スポーツ文化論、 地域スポーツの運営と課題	学校体育(授業や部活動)の在り方、また社会体育(地域スポーツクラブ)との関係について研究しています。
 教授 小田 俊明	バイオメカニクス、 運動生理学、 医用工学	身体運動科学、 運動指導の基礎と応用	科学的な運動指導ならびに個に応じた指導には、スポーツ科学の基礎知識が必要条件と考えています。
 准教授 中須 賢巧	健康・スポーツ科学、 身体教育学	保健体育科教育論、 スポーツ心理学	専門は体育心理学、体育科教育学。特に体育授業における動機づけ雰囲気に関心があり、研究を進めています。
 教授 西岡 伸紀	学校健康・安全教育、 ライフスキル教育	健康教育論、 子どものリスクと安全教育	飲酒、薬物乱用等の危険行動の防止について、健康教育、ライフスキル教育の視点から取り組んでいます。
 教授 筒井 茂喜	健康・スポーツ科学、 身体教育学、 体育科教育学	初等体育科教材研究・授業づくり	状況判断力を高める指導、運動イメージの形成を促す指導、身体コミュニケーションに着目し集団凝集性を高める指導について研究を進めています。
 教授 岡本 希	衛生学・公衆衛生学、 学校保健	衛生学・公衆衛生学研究、 学校保健研究	児童生徒が適切な時期に適正な生活習慣を身に付けるための教育について調査研究を行います。
 教授 小山 英樹	電子工学	電気・電子工学とものづくりの 技術、 計測・制御システム教材研究	LEDやトランジスタなどの電子部品の特徴を生かした、シンプルで使いやすい教材の開発を進めています。
 教授 森 廣浩一郎	科学教育・教育学、 教育学	教育情報コミュニケーション、 総合学習情報論	学びを支援するシステムの構築やそれを用いた教育実践について、さまざまな学校種・教科等で考えてみませんか。

主な修士論文のテーマ

- ▶陸上競技中長距離選手の競技力に下腿筋の力学的特性が与える影響
- ▶小学校体育授業における教師の言語的行動に関する研究—運動前後のCueとフィードバックに焦点を当てて—
- ▶「学校教育の一環」たりうる運動部活動のあり方—目的および方法の視点から—
- ▶中学校体育における生徒の劣等コンプレックスに関する研究
- ▶調理方法別にみるキャベツの嗜好特性

担当教員		研究分野	担当科目	メッセージ
	教授 森山 潤	技術教育、 情報教育、 ICT活用	技術教育カリキュラム論、 教育情報ネットワーク活用論	技術・情報教育における学習者の認知的実態の分析に基づく授業デザインやICT活用について実践的に研究しています。
	准教授 掛川 淳一	教育工学、 学習支援システム	情報活用実践論、 情報化教育環境開発論	知識工学・認知科学的なアプローチに基づく学習／教育支援システムについて、一緒に検討していきましょう。
	准教授 小川 修史	教育工学、 Assistive Technology、 特別支援教育	教育情報工学、 教育の情報化とICT活用	障害者のQOLを高めるICT活用や、そのための教員研修について研究しています。一緒に研究しませんか。
	教授 岸田 恵津	調理科学、 食育・栄養教育	食育の考え方と進め方、 生活科学演習	食の課題解決に向けて科学的にアプローチします。研究を通して物事の本質を見つめる習慣を養いましょう。
	教授 永田 智子	家庭科教育学、 教育工学	家庭科授業論、 授業の指導計画と教材研究の 演習	小中高の家庭科教育、特に授業づくりについて研究しています。実践に役立つ研究を目指しています。
	准教授 永田 夏来	家族社会学、生活科学、 家政・生活学一般、 生活経営学	ライフスタイルと家族	家族社会学を専門としています。若者の結婚や妊娠出産を中心に、社会について考えてみませんか。
	助教 星野 亜由美	調理学、 栄養学	ライフスタイルと健康	食習慣・生活習慣と栄養や、食品の「おいしさ」評価など、食教育へ応用するための基礎的研究をしています。
	教授 溝邊 和成	授業論、 カリキュラム論	ライフスタイルと環境	教科横断的な授業における教材・指導・カリキュラムに関わって研究を進めています。

主な修士論文のテーマ

- ▶ 包括性教育の視点をふまえた高等学校家庭科の授業構想
- ▶ 小学校の食育における栽培活動を支援するための地域連携のあり方に関する検討
- ▶ 自立活動におけるプランニングを対象としたASD児向けデジタル教材の検討
- ▶ システム工学の考え方に基づく中学校技術科における最適化思考の構造化
- ▶ 中学校理科「電流とその利用」のための科学的な概念形成を支援するアニメーション教材の開発

障害科学コース

総合的な専門性に裏付けられた支援力

障害には、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、知的障害、発達障害（LD、ADHD、ASD）、重複障害等があり、これらは多様な教育的ニーズとして捉えることができます。インクルーシブ教育システムでは、多様な教育的ニーズのある児童生徒が同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供するための「連続性のある多様な学びの場」が求められます。

障害科学コースでは、それに応えるために、「実践する力」「連携する力」「研究する力」の3つの力の養成を目指しています。この「実践力・連携力・研究力」は、次の3つの専門性で構成されます。

- ① 特別支援教育で対象となる多様な障害に関する特性の理解
- ② 障害児・者、保護者、学校・学級等への支援
- ③ 地域における支援システムの構築

これらについて、教育学、心理学、生理・病理、指導法、福祉・コーディネートといった多様な学問領域からのアプローチを学ぶことにより総合的に3つの専門性を高めていきます。

■総合的な専門性の概念図



主な修士論文のテーマ

- ▶ 小学校教員の通常学級における特別支援教育の専門性向上に関する研究
- ▶ 食事場面の行動に与える影響要因の検討—特別支援学級（知的障害、自閉症・情緒障害）在籍児童生徒を対象とした調査—
- ▶ 大阪府公立高等学校における知的障がい生徒の受入れに関する研究
- ▶ 特別支援学校（知的障害）小学部の英語の活動に関する研究
- ▶ 知的障害特別支援学校の教育実践におけるICT活用の現状と課題
- ▶ 中国のろう教育における手話活用に関する研究
- ▶ 聴覚特別支援学校小学部における国語科授業に関する研究
- ▶ 視覚特別支援学校中学部全盲生徒に対する理科指導上の困難に関する研究
- ▶ 発達障害児におけるポジティブな発言が自尊心に与える影響に関する事例検討
- ▶ 自閉スペクトラム症児における集団遊びへの般化促進のためのSSTプログラムの検討
- ▶ 入院中の児童生徒の体験的な学習活動に関する研究
- ▶ 5歳時の発達特性に関連する乳幼児期の特徴についての後方視的検討

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 井澤信三	発達障害臨床心理学、 応用行動分析学	障害児心理学研究、 行動障害支援論	個人、学校、地域における応用行動分析学に基づいた アプローチの実践と研究を一緒にやりましょう。
 教授 石倉健二	自立活動、 心理リハビリテーション、 協調運動困難	肢体不自由児指導論、 病弱児指導論	自立活動や関係諸機関との連携を通じて、発達と生活 に関する困難の軽減について実践と研究を行っています。
 助教 内海友加利	肢体不自由教育学、 個別の指導計画の作成に関わ る研修プログラム、 教師教育の理念と制度	特別支援教育総論、 特別支援教育論	協働性に基づく専門性が重要となっています。協働 性とは何か、どう実現するのか共に深めたいと考え ます。
 教授 高野美由紀	早期発見・早期支援、 医療と教育の連携、 知的障害児者とのインタラク ティブな語り	障害児病理、 障害児保健研究	「子ども、家族、支援者がそれぞれに充実した一日を送 る」を一緒に追究していきましょう。
 講師 丹所 忍	先天盲児の空間認知、 盲学校におけるセンタースタイルの 取り組み	視覚障害児教育論、 視覚障害児指導法	見えない・見えにくい子どもの学びから、見やすく・分か りやすい教育の在り方についても考えています。

授業をクローズアップ!

心理学からの障害の理解と支援へ!

障害児心理学研究

担当教員：井澤信三教授、石倉健二教授



知 知的障害等のある人を理解・支援する
ために、発達心理学(社会的情動、
共同注意、感覚・知覚と運動動作等)と学習
心理学(オペラント・レスポナント条件付
け、認知的アプローチ等)という2つの視点
から、講義と演習を通して具体的に学んでい
きます。

不器用さのある子どもへの多面的なアプローチを!

不器用さのある子どものアセスメントと支援についての研究

担当教員：石倉健二教授

発 達神経症群の一つとして注目さ
れ始めた「DCD(発達性協調運動
症)」に代表される、不器用さのある子どもに
ついての文献研究、実態調査と介入研究、
関係する多職種・他機関と連携した実践と研
究を行っています。



Voice

多様な視点から子どもを 支援するための学び

障害科学コース
令和3年3月修了
大石夏実さん



私は、看護職として障害のある子どもたちと関わる中で、本人や家族の支援
について発達という視点から学びを深めたいと思い進学しました。障害科学
コースでは、さまざまな専門領域の先生方、年齢や経験も異なるさまざまな背
景を持つ学生の皆さんと共に学ぶことができます。お互いを認め合い、多様な
視点から意見を交わすことで、自らの考えも深めることができました。また、お
互いが持つ専門性を知る中で、教育と医療・保健・福祉等が連携する大切さも
学びました。これは、多様な視点から子どもの理解を深め、つながりのある支援
をする時に大切だと思います。2年間の学びを生かし、障害のある児・者がより
良く生活できるように根拠を持った支援をしたいです。

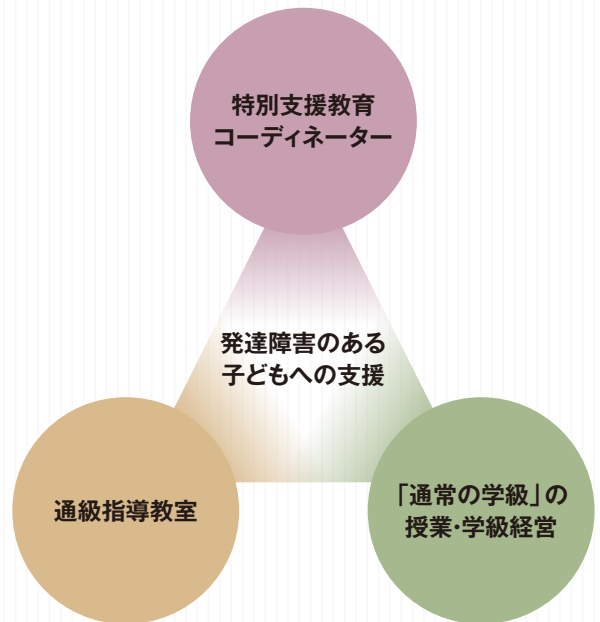
発達障害支援実践コース

すべての子どもにより良い支援を!

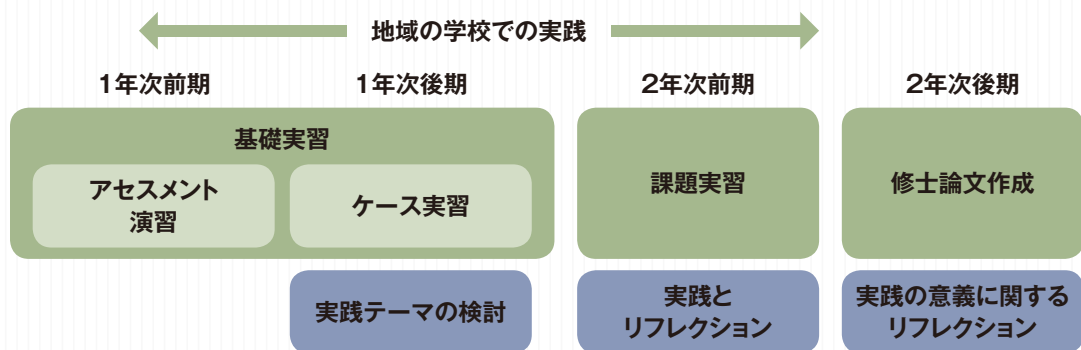
特 別支援教育における課題の解決を自ら主体的に考え、地域や学校で中核となって活動する特別支援教育担当者の育成を目指しています。通常の学級担任・教科担当者にも発達障害支援の実践力（例えば、ユニバーサルデザインの授業）が求められていることから、ストレート学生も入学対象となっています。

発達障害支援に当たって「特別支援教育コーディネーター」「通級指導教室担当者」「特別支援教育を理解して通常の学級において授業・学級経営の工夫をする教員」の人材育成を念頭に、授業科目の領域が設定されています。2年間を通して、地域の教育委員会や学校と協働した学校現場実習を組んでいることも大きな特色です。

コーディネーターや通級担当者には、ミドルリーダーとして教員間コミュニケーションを促進して、体制を推進する役目もあります。通常の学級担任には、インクルーシブ教育を踏まえた授業デザインの力量も求められます。本コースはこのような新しい役割にも積極的に対応しています。



■学校実習が核となる2年間の学び



主な修士論文のテーマ

- ▶ 国語の学習に困難がある子どもへの抽象語理解を促す語彙指導の試み—発達モデルを考慮したイラストカードを活用して—
- ▶ 配慮を要する生徒の中学校運動部活動への参加を促す実践に関する検討—基本スキルの習得と目標の設定を柱として—
- ▶ 通級担当教員と通常学級担任との連携を促す支援—連携プロセスの構築を目指して—
- ▶ 特別支援学級担任への保護者連携に関する研修効果—保護者とのコミュニケーション促進を目指して—
- ▶ 教師の“まなびほぐし”を促す研修デザインの検討
- ▶ ユニバーサルデザインの視点から考える小学校理科の授業づくり—この規則性を見いだすための実験活動—

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 宇野宏幸	発達障害の神経心理学、 通常学級の授業づくり、 地域リーダー論	発達障害研究、 特別支援教育リーダーのための 創発的コミュニケーション	通常学級の特別支援教育(授業づくり)、学校づくりや地域支援のためのリーダーシップに興味を持っています。
 教授 岡村章司	発達障害臨床心理学、 応用行動分析学	学習障害児指導法演習、 家族支援心理学	ASDやその家族への支援、およびコンサルテーションやチーム支援に関する研究をしています。
 准教授 石橋由紀子	特別支援教育学	コーディネート概論、 コーディネート研究	インクルーシブ教育、特別支援学校のセンター的機能等について興味を持っています。

3つの領域で目指す実践力の向上

特別支援教育コーディネーター

- ▶ 特別支援学校のセンター的機能を発揮しての地域支援の充実
- ▶ 校内で、生徒指導や研究主任等と協働しての支援体制構築

クラスの授業・教科担当者

- ▶ 授業のユニバーサル・デザイン化の効果的な展開
- ▶ 発達障害のある子どもを踏まえた学級経営の工夫



通級指導教室担当者

- ▶ 発達障害のある子どもを対象とした個別的な学習・生活指導の力量アップ
- ▶ 学級担任や保護者との連携を図り、子どもの教育ニーズを的確に把握

Voice

これまでの私、 これからの私

発達障害支援実践コース

令和3年3月修了

清田志穂さん



通常学級で学ぶ子どもたちの多様な困難さを感じ、私にできることは何かと考えるようになりました。そこで、思い切って勉強しようと決意し、本学に入学しました。大学院では、さまざまな職種の方との出会いがあり、皆さんの体験を聞くことで、学びを広げ、深めることができました。授業では、特別支援教育に関する専門的な知識を得ることで、現場で培ったこれまでの実践を確実なものにできているようにも思います。

発達障害支援実践コースでは、検査結果をもとに支援方法を考え、個別指導を行うなど、実習校でのケース実習があります。実習を通して通級担当や特別支援教育コーディネーターとして活躍していくための土台をつくることができ、これからの自身の実践に最も適したものであると感じています。

教育現場に実践力の高い
教員を送り出す

専門職学位課程（教職大学院）

授与される学位…教職修士（専門職）

ニーズと実践性に根差した
高度な教育研究を推進

教育実践高度化専攻

こんな人を募集します！

学校経営コース 昼 夜	校長や教頭などの学校経営専門職や指導主事などの教育行政専門職に必要とされる、高度な実践力、課題解決力や組織経営力を育成します。	学校管理職、教育行政専門職（候補者含む）
教育方法・生徒指導 マネジメントコース 昼 夜	児童生徒理解、指導と評価などの視点から、学校のさまざまな教育活動をマネジメントできる教員の養成を目指します。	小学校、中学・高校教員、教員志望者
言語系教科 マネジメントコース 昼 夜	ことばの教育に関わる諸問題について指導法および専門的事項を幅広く探究し、言語文化に関する教育実践力を養成します。	小学校、中学・高校（国語・英語）教員、教員志望者
社会系教科 マネジメントコース 昼 夜	児童生徒の社会認識を深め、現代社会をよりよく生きる知性と勇気を育むことのできる教員の養成を目指します。	小学校、中学（社会）・高校（地歴・公民）教員、教員志望者
理数系教科 マネジメントコース 昼 夜	理数系の教科専門と教科教育を融合する教材研究・授業開発の習得、研究を通した算数・数学と理科の教育を担う人材を育成します。	小学校、中学・高校（数学・理科）教員、教員志望者
小学校教員養成特別コース 昼 （3年制コース・2年制コース）	小学校教員志望者を対象とし、実践的な指導力と自己の実践を省察・改善できる能力を身に付け、即戦力となる教員を養成します。	小学校教員の志望者
グローバル化推進 教育リーダーコース 昼 夜	学校のグローバル化推進教育のために、多様な文化や国際社会を理解し、多文化共生に必要なコミュニケーション力を備えた教員等を養成します。	グローバル教育に関心のある教育関係者および教員志望者
教育政策リーダーコース F	未来を創る子どもたちの教育に加え、新たな地域社会の創出を担う教育行政に携わる教育長等を養成します。	教育長、教育行政の幹部（候補者含む）
学校教育コース 夜	先行研究や先進事例の知見を参考にしながら、今学校現場で起こっている課題を、協働的に解決するプロセスを通して、教育実践研究の力を高めます。	教職経験5年以上の働きながら学びたい人

● … 加東キャンパス ● … 神戸ハーバーランドキャンパス F … 学生の要望等を踏まえた時期・場所で授業を受けることができる「フレックス&プレイスカリキュラム制度」

外国人留学生向けに 国際貢献型カリキュラムを開設

日本語や日本の文化、学校教育を理解することにより、主に母国における教育の向上に貢献することを目指す外国人留学生を募集します。

- Point**
- ▶ 日本型教育の特徴を学べます！（比較教育学など）
 - ▶ 学校体験・基盤実習の授業科目で実際の教育現場に接することで、母国の教育現場との違いを体感できます。

※母国での教職経験がある人は実習の一部を免除できます

対象コース

教育方法・生徒指導マネジメントコース／言語系教科マネジメントコース／社会系教科マネジメントコース／理数系教科マネジメントコース／グローバル化推進教育リーダーコース

学びのプロセス

課題研究(教育実践研究報告書作成)の流れ

1年次	5月～6月	指導教員(ゼミ)を決定
	6月	実践研究テーマを設定(自身が所属するコースで行う実習での検証等を考慮して設定)
	8月～9月	実践研究計画発表会(研究テーマと研究方法のアウトラインの確定)
2年次	2月	中間発表会I
	8月～9月	中間発表会II
	2月	実践研究発表会(実践研究の成果発表)



学校臨床科学コース※
令和3年3月修了
／公立小学校教諭
脇田佐知子さん

小学校総合的な学習の時間におけるグローバル教育の試み

4月当初より、全体説明や教員との個別面談などによるガイダンスが行われました。その後、各自の関心事や希望する研究内容をもとに教員とのマッチングが行われ、6月に指導教員が決定しました。もともと国際理解教育に興味があり、それに関わる研究をしたいと考えていたましたが、研究テーマや内容は、ゼミ指導の下、研究の動向や現任校の課題等から決定しました。

ミ指導の下、研究の動向や現任校の課題等から決定しました。

1年次後期の基盤実習では、研究テーマに沿った実践を試み、基礎的なデータを集積しました。2年次前半では、基盤実習での成果と課題を整理し、それまでの講義、文献から得られた知見も踏まえ、2年次後半の開発・改善実習のための研究課題を定めました。実習を行う際には、常に現任校と調整を図りながら準備を進めました。

各学期に行われた集団ゼミでは、研究の進捗状況を報告する機会があり、自身の研究を見直すことができました。院生同士の議論や先生方からの助言も大変刺激となり、参考になりました。また、研究を進めていく上で分からないことがあった時には、指導教員のみならず、多くの先生から心強いサポートを受けられました。この2年間、関心事をベースにした教育実践研究ができただけでなく、講義やゼミ、他の院生との課外交流等を通して、これまでの自分自身の教育観を問い直し、さまざまな方面において新たな学びを得ることもできました。

脇田さんの2年間の学び

年次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	研究ガイダンス	指導教員決定	研究課題の選定	情報収集(文献・研修会参加)	研究タイトル決定	基盤実習情報収集	研究結果の分析・考察					
2年次	研究結果の分析・考察	論文作成	開発・改善実習情報収集	研究結果の分析・考察	報告書作成	報告書提出	発表					

※令和4年度から、コース名が教育方法・生徒指導マネジメントコースに変更となります

修了に必要な単位

専門職学位課程

	学校経営コース	小学校教員養成特別コース 3年制コース()は2年制コース	教育政策リーダーコース	学校教育コース	左記以外のコース
共通基礎科目・専門科目	32単位以上	26単位以上 (24単位以上)	36単位以上	36単位以上 ※5	28単位以上
実習科目	10単位 ※2	12単位 (14単位)	10単位 ※2	10単位 ※2	10単位 ※2
学部教職課程	—	73単位 ※3	—	—	—
合計単位数	42単位	38単位+73単位 (38単位)	46単位	46単位	38単位
最低修得単位数 ※1	46単位	46単位+73単位 ※4 (46単位)			46単位

※1…合計単位数38単位(学校経営コースは42単位)と最低修得単位数46単位との差8単位(学校経営コースは4単位)は、共通基礎科目、専門科目(自身が所属するコース以外で開設する専門科目を含む)および実習科目のうちから修得するものとします(教育政策リーダーコースおよび学校教育コースは除きます)

※2…実務経験等に応じ、実習科目の全部または一部が免除される場合があります

※3…幼・中・高1種免許状所有者は55単位

※4…幼・中・高1種免許状所有者は46単位+55単位

※5…修士課程各専攻・コースで開講する授業科目を修得した場合は、10単位まで修了に必要な単位数に含めることができます

学生の時間割を公開！



学校臨床科学コース2年※
／公立小学校教諭
門脇大輔さん

新たな知見を得る

学校臨床科学コースには、授業実践分野と生徒指導分野があります。そのため、自身の研究の軸がどちらにあるのかを考えた上で、時間割を組んでいきました。私は、道徳授業に関心があったため、授業実践分野に関わる科目を履修しました。それに加え、実践研究を進めるに当たって必要となってくるであろうデータの取り方、分析を学ぶことができる科目も履修しました。実習においては、これまでの実践をまとめた報告書と資料を提出し、審査を受けた上で、基盤実習免除となりました。免除となった分、2年次に行われる開発・改善実習へ向けての研究時間に充てました。共通基礎科目、専門科目の学修を通して、新たな知見を得ることができます。

※令和4年度から、コース名が教育方法・生徒指導マネジメントコースに変更となります

1年次の授業スケジュール(令和2年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1	教員のための 学校組織 マネジメント の実践演習	授業の 指導計画と 教材研究 の演習	道徳教育 及び 道徳授業の 理論と実際	学校に おける 道徳教育の 実践研究	教員の 社会的役割 と自己啓発
	2		学習指導と 授業デザイン		包括的児童 生徒支援に 関する事例 研究	児童生徒を 活かす 学級経営の 実践演習
	3	ゼミ	教育課程の 制度的特質 と課題		授業に おけるICT 活用	
	4				教師発達と メンタリング	
	5					
後期	1	教員のための 人権教育の 理論と方法	学校における 特別支援教育 への対応と 方法			ゼミ
	2	特色ある カリキュラム づくりの理論 と実際	授業における 評価の 基準作成理論 と学力評価		学校における データの 取り方と分析 ※1	
	3	学校 カリキュラム のデザイン と評価			社会心理学 に基づく 学級経営の 実践開発※2	
	4				授業研究の 理論と実践	
	5					

※1…後半は「学校臨床科学における質的研究」(昼間クラス)

※2…後半は「円滑な学級経営のための力量形成」



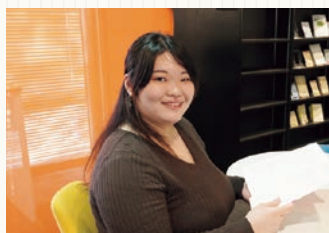
社会系教科
マネジメントコース2年
有馬大貴さん

子どもの「できる」を導く教員を目指して

今後、教員になるに当たり、私自身は授業を通じて子どもたちにどのような経験をさせられるかということを考えています。そこで、子どもたちの中で経験を知識として落とし込める授業とはどのような授業なのかという目標の下、研究に取り組んでいます。そして、授業では授業論について論文の内容や教材の検討を通して、実際に授業を行ったり、指導案を計画したりしています。その中で、私自身の課題である経験に基づく授業なども取り扱われており有意義な学習ができています。また、実習では加古川市が独自に取り組んでいる協同的探究学習に主眼を置いて取り組みました。現在、私自身の研究の中心となっているものです。

1年次の授業スケジュール(令和2年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1		授業の指導計画と教材研究の演習		包括的児童生徒支援に関する事例研究	児童生徒を活かす学級経営の実践演習
	2	教員のための学校組織マネジメントの実践演習		社会系教科の授業デザインの理論と方法(2)	学校における道徳教育の実践研究	教員の社会的役割と自己啓発
	3		教育課程の制度的特質と課題		授業におけるICT活用	
	4		社会系教科の授業デザインの理論と方法(1)		社会系教科におけるカリキュラムの変遷とマネジメントの実態	
	5			社会系教科教育実践研究		
後期	1		授業における評価の基準作成理論と学力評価法		学校における特別支援教育への対応と方法	
	2	教員のための人権教育の理論と方法				
	3		社会系教科の授業研究			
	4					
	5	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際	現代社会の課題とその教材化	社会系教科教育実践研究		



小学校教員養成特別コース
3年

南波真帆さん

兵庫教育大学だからこそ実践的な学び

1年次後期は特に授業数も増え、忙しくなってくるため、空いている時間をいかに上手に使えるかが重要になってきました。学校にパソコンを持ってきて空きコマを利用して作業したり、通学のバスや電車の中で作業を行っている人もいました。実習については、2年次の後期に4週間の母校実習に加えて約4カ月の実習があるのですが、ゼミの先生や実習センターの先生方の手厚いサポートがあるので非常に安心して取り組むことができます。全部で約5カ月の実習を現場でさせていただけるという経験はなかなかありません。自分が現場に長い期間入らせていただくことで、子どもたちの実態や教員の教室以外での仕事などを身近で学ぶことができます。

1年次の授業スケジュール(令和元年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	初等体育	同和教育と人権教育		
	2		初等英語	初等音楽科教育法	初等体育科教育法
	3			初等社会	
	4				初等理科
	5		初等社会科教育法		
後期	1	生徒指導論	初等国語 初等算数	初等英語科教育法	初等家庭科教育法
	2	初等国語科教育法	教育実地基礎(レポート作成法)		総合的な学習
	3	初等生活科教育法	道徳教育論	初等音楽 初等図工	特別支援教育
	4	教育相談論			初等家庭 初等生活
	5		特別活動論		



グローバル化推進
教育リーダーコース
令和3年3月修了

藤江友香さん

海外フィールドワークを終えて

1年次で履修した海外フィールドワークでは、台湾で幼稚園から大学までのさまざまな校種の学校を訪問し、それぞれの学校における工夫をたくさん知ることができました。日本との大きな違いとして感じたものは、外国語教育です。台湾では、幼稚園教育から英語を学ぶ所が多く、小学校ではAll Englishでの教育をされている学校もありました。幼少期から英語教育に力を入れることで語彙力が身に付くと感じられます。また、台湾では日本語に興味を持つ学生も多く、私たち日本人は英語だけでなく日本語でもコミュニケーションを取ることができる場面もありました。グローバル化が進む現代、さまざまな国からの観光客が訪れる現代に合わせて、私たちも英語を身に付けるべきだと感じ、また、日本の英語教育にもっともっと力を注いでいきたいと感じました。

1年次の授業スケジュール(令和元年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	特色あるカリキュラムづくりの理論と実践	授業の指導計画と教材研究の演習	学校における道徳教育の実践研究	児童生徒を活かす学級経営の実践演習
	2	教員のための学校組織マネジメントの実践演習	英語を活用した論理的思考	実用外国語演習	包括的児童生徒支援に関する事例研究
	3	音楽史と音文化論	教育課程の制度的特質と課題	授業におけるICT活用	
	4		グローバルフィールドワーク1(海外)		
	5	音楽表現の知識と技能V(指揮)			
後期	1	教員のための人権教育の理論と方法	授業における評価の基準作成理論と学力評価	学校における特別支援教育への対応と方法	
	2			外国語による表現法	
	3		音楽教育の創意IV(創作)		
	4		グローバルフィールドワーク1(海外)		
	5				

学校経営コース

学校づくりをリードする高度な実践力の育成を図る

学 校教育に対する社会の期待は大きくなってきており、学校が自らの判断で保護者・地域社会の期待や要求に応えながら、自律的に学校づくりに取り組むことが求められています。これからの学校づくりには、校長や副校長、教頭に深い教育的見識とともに、組織を動かす経営力が必要です。また、教育委員会の指導主事や管理主事などの職員にも学校づくりを支援する高度な役割と力量が必要とされます。

学校経営コースでは、これからの学校づくりをリードする校長や副校長、教頭などの学校経営専門職、学校を支援する指導主事などの教育行政専門職を養成します。両者に必要とされる高度な実践力、高度な課題解決力や組織経営力の育成を目指します。

実習（インターンシップ）は、学校経営と教育行政のどちらかを選択して履修します。8週間の実習のねらいは、①修了時に提出する改善プランの仮説検証と具体策の検討、②学校管理職・教育行政幹部としての資質・能力の育成、③大学院で学んだ成果を還元することでの現場への貢献です。実習では、学校長または教育委員会幹部がメンターとして指導に当たります。



主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 小・中学校における効果的な人材育成の取組に資する教育委員会事務局の支援策—若手教員の育成を中心に—
- ▶ 児童生徒が卒業後地域で自分らしく生きるために—地域とともに共生社会を実現する学校—
- ▶ 「学習する組織」としての高等学校の授業改善—コミュニティ・スクールの仕組みを活用して—
- ▶ A高等学校改善プラン—主体性を伸ばす全員発揮型リーダーシップ教育の推進—
- ▶ 機能する学校組織の在り方についての一考察—主幹教諭・ミドルリーダーの役割を中心に—
- ▶ 児童生徒の自立と社会参加を目指す学校づくり—12年間の学びをカリキュラム・マネジメントでデザインする—
- ▶ 予測困難な未来を切り拓くビジネス教育の革新—地域産業をリードする人材を育成するには—
- ▶ 少人数指導加配教員の機能性に影響を与える要素について—学力向上推進リーダー等への質問調査から—
- ▶ カリキュラム・マネジメントを柱とした学校改善の一考察
- ▶ A県立S工業高等学校（多部制）学校改善プラン—地域に開かれた教育課程による工業高校の深い学びの実現に向けて—
- ▶ 小中合同の学校運営協議会で創る「奇跡の学校」—コミュニティ・スクールの仕組みを学校課題解決のツールとして最大限活用する—

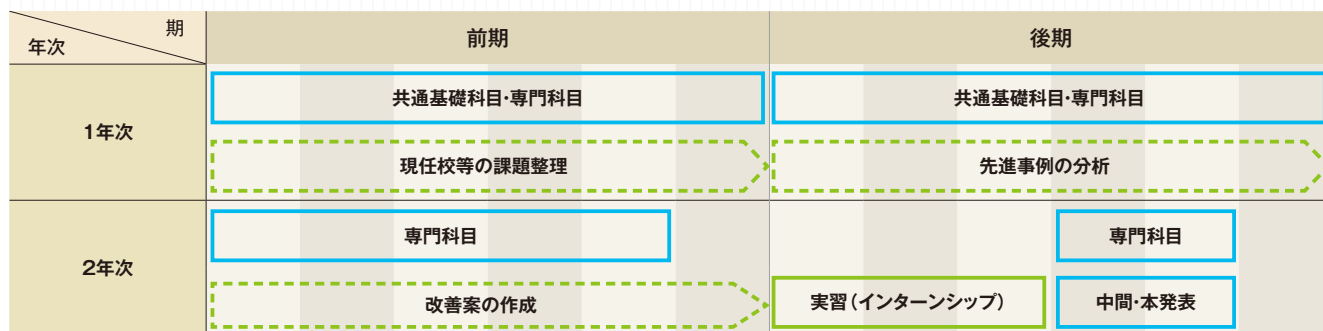
担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
	教授 當山清実	教師教育、 教育経営	学校危機管理の理論と事例演習、 学校改善・教育行財政実践 課題研究I・II・III	教員の職能開発とその促進要因となる現職研修の在り方について研究を進めています。
	教授 川上泰彦	教育政策、 教育行政学、 教育経営学	教育施策の立案と評価、 教育法規の理論と実務演習	国・地方レベルにおける教育行政システムの変化が学校の諸活動や経営に与える影響に関心があります。
	准教授 黒岩 寛	学校経営・学校運営	学校改善・教育行財政実践 課題研究I・II・III	特色のある学校づくりと教育課題に対処する学校経営の在り方、人材育成を研究しています。
	准教授 安藤福光	カリキュラム・マネジメント、 小中一貫教育、 中高一貫教育	カリキュラムの開発と学校の 特色づくり、教育行財政の制 度と運用	カリキュラムマネジメントが専門で、カリキュラムの組織的運営を「接続と分節化」の概念で研究しています。
	准教授 神内 聡	教育法、 教育制度、 社会科教育	学校危機管理の理論と事例演習、 教育法規の理論と実務演習	教員と弁護士の双方の視点から、教育法、教育制度、社会科教育などを研究しています。
	特任教授 浅野良一	人材育成・職能開発、 学校組織マネジメント	学校組織マネジメント実践演習、 教職員の職能開発と研修 プログラム開発	学校組織の活性化プロセスとその実現に向けたリーダーシップを研究しています。

学びのフロー図

変更になる可能性があります。



2年次の9月～12月の間に、所属機関(現任校、教育委員会)と協議して、最低2カ月の実習を行います。

Voice

切磋琢磨しながら 「もっと学びたい」

学校経営コース2年

徳永志保さん



学校経営や教育行財政に関する卓識を備えた教授陣のご指導の下、最先端の理論を学ぶことができています。これまでの教職実践を通して身に付けた「経験知」と大学院での学びを通して得た「理論」が一致した時には、自らの実践の自信につながるとともに、「もっと学びたい」との意欲が湧いてきます。

また、フィールドワークや先進事例研究では、他県の学校や行政の取り組みを軸として、自分の研究課題との距離感や方向性を探ることができます。

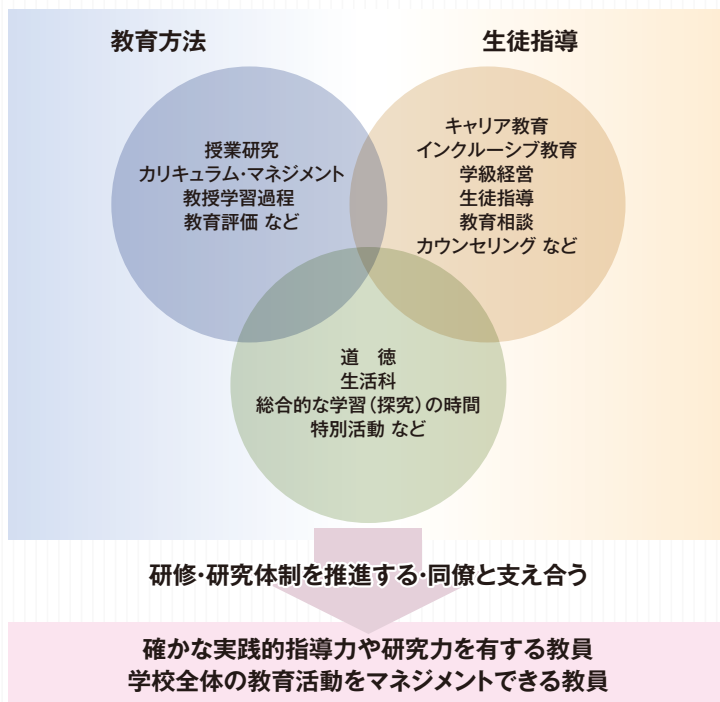
さらに、他県の仲間と切磋琢磨できることは何よりの刺激となります。時には院生室で白熱した議論が展開されることもあり、このような豊かな学びの機会を得られたことを幸せに思います。

教育方法・生徒指導マネジメントコース

教員に必要不可欠な「授業実践」「生徒指導」に関する専門的力量の向上を図る

本コースでいう「教育方法」とは、各教科・領域に捉われない基盤的かつ共通な授業実践の方法やカリキュラム・マネジメントの在り方などを対象とするものです。また、「生徒指導」とは、初等・中等教育において、教科指導以外の学校生活や子どもの成長に関わる学校教育活動の全てを対象とするものです。

本コースでは、教育方法や生徒指導が対象とする学校教育実践上の課題の解決につながる理論や実践を幅広く学びつつ、各自の問題意識やテーマに即した実践的研究を行うことで、高い専門性を有する教員を養成します。また、学校全体の実践研究力の向上に資する研修を同僚と協働して企画・実施するなど、学校の組織マネジメントに貢献できる力量を高めます。



主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 小学生の知識構築を促すためのグループにおける他者との対話の在り方
- ▶ 教育内容を明確にした小学校体育「体づくり運動」のカリキュラムの開発と運用について
- ▶ 学校現場におけるフィードバック技法を活用した教員の力量向上のための実践的試み
- ▶ 「校内チーム・シェア会議」のファシリテーションの在り方に関する研究—参加者による自発的な支援策の提案を目指して—
- ▶ 集団決定時の手続き的公正経験が児童の学級アイデンティティと向集団の態度におよぼす効果
- ▶ 能動的に繋がる学校と地域の連携のあり方—地域の願いを活かすコミュニティ・スクールのあり方検討と授業への活用—
- ▶ 「信念を貫く」人物教材の分析と発問づくりに関する一考察—道徳科で「人間としての生き方についての考えを深める」ために—

Voice

「より良い」を再定義する日々



学校臨床科学コース※

令和3年3月修了

浜田啓久さん

自身の研究テーマである「ふるさと学習」に軸足を置きながらも、より良い学校とは、より良い授業とは、より良い評価とは…。そもそも、「より良い」とは一体何なのか、という内なる問いが広がっていく充実した研究の日々でした。ここでの学びと経験は、予測不可能な時代に必要「不安に身を預ける勇気とチャレンジ」を支えてくれる大きな財産となっています。

教育現場に根差した学び



学校臨床科学コース※

令和3年3月修了

小城奈津実さん

私は大学院で、生徒指導に関する自分の行動を振り返る方法について学びました。実習では、授業の方法を学ぶことの他に特別な支援を必要としている児童や別室登校をしている児童と関わる時間をいただき、その在り方について考える機会をいただきました。教員陣はもちろん同じコースの方々に、教職現場での経験に基づくアドバイスを受け、議論を交わすことで楽しく学びを深めることができました。

※令和4年度から、コース名が教育方法・生徒指導マネジメントコースに変更となります

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
	教授 溝邊 和成	教育方法学、 授業論、 カリキュラム論	総合学習の理論構築と実践力 育成、実践的な指導方法に関 する理論と実際	教科横断的な授業における教材・指導・カリキュラムに 関わって研究を進めています。
	教授 松本 剛	教育相談、 臨床心理学、 人間性心理学	教育相談の理論と技能開発、 包括的児童生徒支援のための 事例研究	教育相談・学校における心理支援に関わっています。 ファシリテーターとしての教員の役割に関心があり ます。
	教授 谷田 増幸	道德教育、 公民科教育	学校における道德教育の実践 研究、道德教育及び道德授業 の理論と実際	道德科や公民科「倫理」を中心に、人間としての在り 方や生き方に関する教育について取り組んでいます。
	教授 竹西 亜古	社会心理学、 リスク心理学、 心理学調査法	社会心理学に基づく学級経営 の実践開発、学校における データの取り方と分析	データに基づく科学的な教育実践や研究を目指しま せんか。どのような教育分野にも応用できますよ。
	教授 山中 一英	教育心理学、 社会心理学、 教師教育学	円滑な学級経営のための力量 形成、学校臨床科学における 質的研究	「他者とかかわる」ことと「学ぶ」こと。私たちを支える この2つの営みの繋がりをめぐって研究しています。
	准教授 安原 一樹	社会教育学、 地域教育経営論	特別活動・地域教育活動プロ グラムの開発、教員のための 人権教育の理論と方法	生涯学習社会における子どもから高齢者に至る学習 環境の有りようとその社会的意義を探究しています。
	准教授 伊藤 博之	教育方法学、 教育課程論、 教育方法論史	学校カリキュラムのデザイン と評価、 授業研究の理論と実践	自律的・協働的な学びとはどのようなものであり、それ をどのように組織し運営するか、共に追究しましょう。
	准教授 淀澤 勝治	道德教育学、 幼児教育学	学校における道德教育の実践 研究、道德教育及び道德授業 の理論と実際	小学校での教職経験を生かし、道德教育および道德 科の授業の在り方を実践的に研究しています。
	准教授 隈元 みちる	臨床心理学、 教育相談、 発達相談	包括的児童生徒支援に関する 事例研究、 教育相談の理論と技能開発	臨床心理学の立場から、それぞれが生きやすい在り方 や環境を探っていきたいと考えています。
	准教授 宮田 佳緒里	教育心理学、 学習心理学	学習指導と授業デザイン、 教師発達とメンタリング	児童生徒が概念を理解し、思考できるまでの認知過程 について、教育心理学の立場から研究しています。
	准教授 奥村 好美	教育方法学、 カリキュラム論、 教育評価論	授業研究の理論と実践、 学校カリキュラムのデザイン と評価	オランダや日本の教育を研究しています。実践の事 実に根差し、共に教育の在り方を問い直していきた いです。
	講師 森本 哲介	教育心理学、 臨床心理学、 ポジティブ心理学	生徒指導とキャリア教育、 学校における道德教育の実践 研究	個人の強みをどのように自己形成、キャリア形成に生 かすかということを研究しています。
	助教 山本 真也	応用行動分析学、 特別支援教育、 自閉症スペクトラム障害	包括的児童生徒支援に関する 事例研究、学校における特別 支援教育の対応と方法	特別支援教育における指導法の研究を行っています。 特に、応用行動分析学の手法を用いています。

言語系教科マネジメントコース

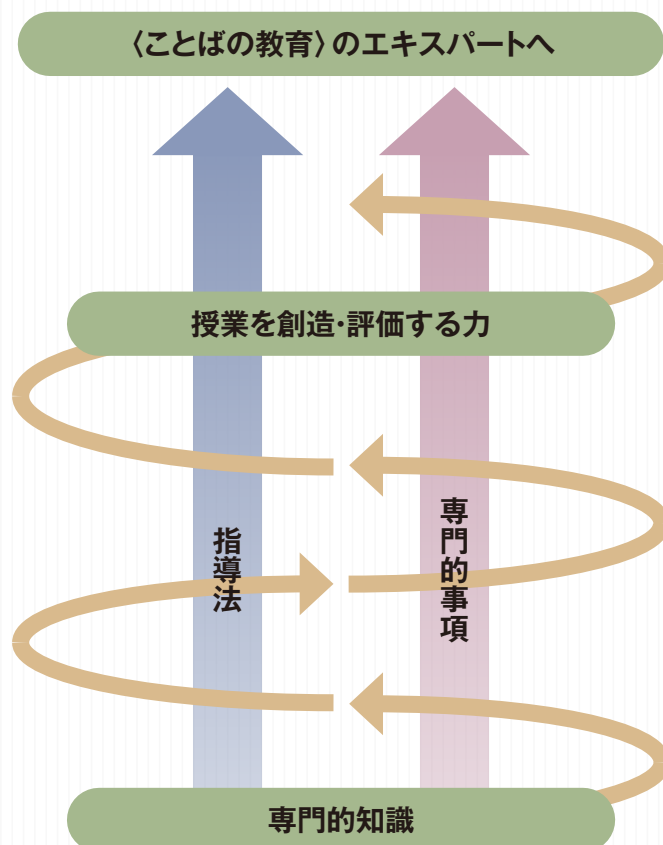
国語教育・英語教育のエキスパートを育てる

専 門的知識に裏付けられた授業を創造・評価する力を
持ち、小学校・中学校・高等学校における言語教育の
実践に関わる高度な専門的力量を身に付けた教員の育成を
目指します。そのことを達成するため、〈ことばの教育〉に関
わる諸問題について、指導法（カリキュラム・シラバス、生徒
の資質・能力を高める指導、授業づくり、学習評価、言語習得
など）および専門的事項（言語表現、文学表現、言語構造、言
語文化、言語教育、コミュニケーション、異文化理解など）を
幅広く探究できるカリキュラムを編成しています。

実習では、現職教員については、学校教育の抱える諸問題
の調査・分析を行い、研究課題を絞り込むとともに、課題解決
のための目標を設定します。

ストレート学生については、教科指導を中心とした学校教
育全般にわたる実習を通して、大学院実習で必要な基本的な
知識・技能等を習得し、教員としての素養を養います。

自らの教科教育の理論を構築し、研究内容と関連付けた実
習を通してその有効性を検証することにより、教員としての
総合的な力量を高めます。



兵庫教育大学言語表現学会での研究発表風景

言語表現学会は、コース内に事務局を置く、開かれた学術組織です。



主な教育実践研究報告書のテーマ ※印は現職教員院生のもの

- ▶ 小学校国語科授業における視覚的アプローチの研究
- ▶ 論理的に理解し表現する力を育成する言語活動指導のあり方についての研究 ※
- ▶ 児童のエンゲージメントを促す小学校外国語科における言語活動のデザイン ※
- ▶ 中学校英語の物語文理解における読解活動と音読活動を関連させた指導の効果 ※
- ▶ 高校生を対象としたスピーキングの帯活動による外国語不安と自信の変化

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
国語	 教授 菅井三実	理論言語学、 日本語学、 言語教育	言語の仕組みと言語教育、 言語系教科教育実践研究	日本語がどのような言語で、人はそれをどのように習得し運用するかについて知見を提供したいと思います。
	 教授 羽田 潤	国語科教育、 メディア・リテラシー、 サブ・カルチャー	国語科授業実践研究、 授業におけるICT活用	多様なメディアを活用した国語科授業の開発を目的に、映画、マンガ、写真、広告の分析に取り組んでいます。
	 助教 岡崎 渉	日本語教育、 談話分析	外国人児童生徒の指導と多文化共生教育	国語教員とは求められる知識やスキルの異なる日本語教育を学ぶことで、国語教育への理解が深まります。
	 助教 池田匡史	単元学習、 国語教育史、 国語科教育	国語科カリキュラム研究、 初等国語科教材研究・授業づくり	国語教育史の領域を専門とし、特に戦後国語科の単元学習論、主題単元学習論の展開を研究しています。
	 教授 吉川芳則	国語科教育、 説明的文章、 論理的思考力	国語科授業実践研究、 言語系教科教育実践研究	ことばによってよく思い、表現することで豊かに生きる。このことにつながる授業づくりを追求しましょう。
英語	 教授 吉田達弘	英語教育学、 社会文化理論に基づく英語授業研究・英語教師教育研究	小学校英語科授業の研究、 教育課程の制度的特質と課題 初等英語教材研究・授業づくり	理論のレンズを通して小中高の英語授業を分析し、授業におけるコミュニケーションについて考えていきます。
	 准教授 近藤暁子	外国語教育、 英語教育学、 応用言語学(第二言語習得)	英語科授業の実践研究、 初等英語教材研究・授業づくり	外国語学習における個人差要因と、映像メディアを使用した外国語の指導についての研究に取り組んでいます。
	 准教授 多田ウェンディ	第二言語習得、 英語教育、 英語教師教育	英語科授業と言語表現1(文学作品における英語表現と多様な文化)、 言語系教科教育実践研究	将来、学校教育の場で必要になる英語のスキルと知識を英語で身に付けることを目的とした授業です。
	 講師 鳴海智之	英語教育学、 心理言語学、 第二言語習得	第二言語習得と外国語学習、 初等英語教材研究・授業づくり	心理言語学的アプローチにより、学習者の英文理解時の処理プロセスと、その自動化の過程を研究しています。

Voice

実践を通して学べる 国語教育の在り方



言語系教科マネジメントコース
(国語) 令和3年3月修了

藤原大征さん

大学院の授業では、国語の知見を広げられ、国語科授業における諸問題について実践的なアプローチの仕方や方法を学べました。この学びのいかいもあり、研究したいテーマについて、約10週間の実習を通して検証することができました。先生方も親身になってくださり、国語教育とは何かを深く考えられたことで、専門の力量を高められたと実感しています。

学びの エンカウンター



言語系教科マネジメントコース
(英語) 2年

中野絵理香さん

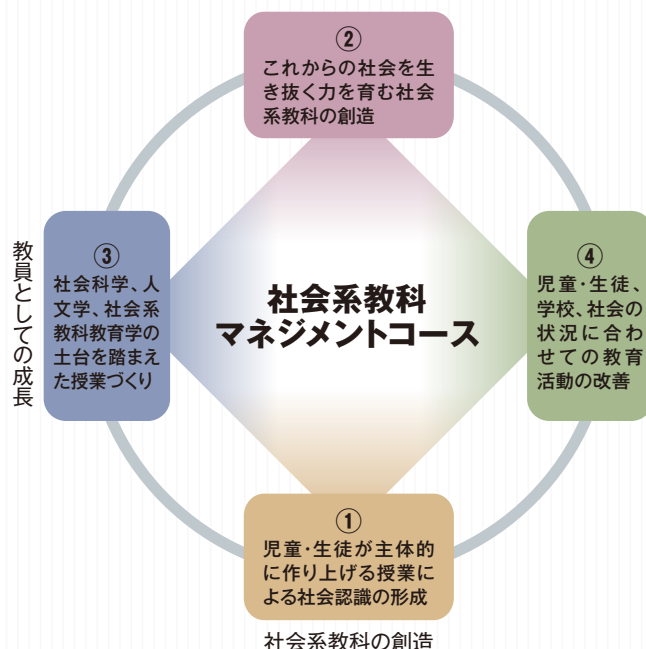
令和2年は学びの形が大きく変わり、オンライン授業を経験しました。そのような中でも、世界の動向を視野に研究される先生方の教えは、現場実践を理論で紐解くようで夢中になりました。新たに「英語音声」研究にも出合え、感謝しています。専攻の異なる意欲的な現職の先生方や多彩なストレート学生と学友として、再び学びを深められることも大学院の醍醐味だと感じます。

社会系教科マネジメントコース

これからの社会を「生き抜く力」を育成する教育の創造

社 会系教科には多様化・流動化している現代社会を「生き抜く力」を育成することが求められています。この目標を実現するために、まず①児童・生徒が主体的に授業を作り上げていく中で社会認識を育むという社会系教科の特徴を生かしながらも、②そのつどの状況に応じて主体的に社会参画できる力を育成するため、新しい社会系教科を創造していかねばなりません。これと並んで、③教員自身が社会科学、人文学、社会系教科教育学の土台を踏まえた授業づくりに習熟するだけでなく、④児童・生徒、学校、地域の状況に合わせて教育活動を改善することができる能力を身に付けなければなりません。社会系教科マネジメントコースは、このように他者と協調しながら自己成長を行うことのできる教員の養成を行うことを目標とします。

本コースには、同窓会組織である嬉野会があります。兵庫教育大学創立以来、40年以上にわたる卒業生の団体です。そこには、現役の校長や教頭などの管理職や、兵庫県教育委員会の指導主事の他、社会科教育の中核となって活躍されている現役の教員が多くいます。年1回の総会の他に、教員採用試験前には、かつて面接の試験官をされた嬉野会の人を招いてセミナーを開いたり、授業実践の研究会を開いたりしています。皆さんも、この仲間に加わって、大いに交流してください。



嬉野会研究会

主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶〈考える「倫理」〉へ転換する「倫理」の授業—原典資料と対話を活用して—
- ▶高等学校における「歴史的思考力」を育成する日本史授業モデル開発
- ▶自己の意識を相対化する高等学校「歴史総合」の授業開発—近代国家における国民形成の学習を通して—
- ▶高等学校における生徒の対話的学習を促すICT活用と歴史授業開発
- ▶小学校社会科における「市民的リテラシー」を育成するカリキュラム—「対話」を取り入れた歴史学習の実践を通して—
- ▶資料の批判的解読を通して概念の再文脈化を目指す中学校社会科歴史的学习の開発

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 原田誠司	史学、史学一般、 近世村落成立史論	授業の指導計画と教材研究の 演習、社会系教科の授業デザ インの理論と方法(2)	近世前期の社会・経済史を専門とし、西国を対象地域 として、近世村落の成立に関する諸問題を扱ってい ます。
 教授 森田 猛	史学、 ヨーロッパ史・アメリカ史、 西洋史	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)、 現代社会の課題とその教材化	近代ヨーロッパ史を専門にしています。特に19世紀の ドイツ史学史、スイス文化史に関心をもっています。
 教授 南埜 猛	溜池、 水資源、 エスニシティ	現代社会の課題とその教材 化、社会系教科の授業デザ インの理論と方法(1)	ESD(持続可能な開発のための教育)の一つの切り口 として、「流域学習」を一緒に検討してみませんか。
 教授 森 秀樹	哲学、 市民性教育、 創発性	現代社会の課題とその教材化、 社会系教科の授業研究	「対話」と「協働」を手がかりとして、複雑化する現代 社会に対応できる教育を考えていこうと思います。
 准教授 山内敏男	教育学、 教科教育学、 社会科教育学	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)、社会系教科 におけるカリキュラムの変遷 とマネジメントの実際	規範を教授するのが教育か…を問いとして歴史教育、 教員研修を中心に研究しています。
 准教授 福田喜彦	社会系教科教育、 東アジア、 市民性教育	社会系教科におけるカリキュ ラムの変遷とマネジメントの実 際、社会系教科の授業デザ インの理論と方法(3)	グローバル化に生きる子どもたちが「市民性」を身に つけるための社会系の授業をとともに考えていきま しょう。
 准教授 渡邊 正	経済学、国際経済学、 アジア経済、 海外直接投資	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(3)	国際経済学を専門としています。海外直接投資や工程 間分業に着目し、アジアの経済発展メカニズムを研究 しています。
 教授 関 浩和	社会認識教育学(社会科・ 生活科)、教育課程論	特色あるカリキュラムの理論 と実際、教科・領域の内容・指 導法研究Ⅲ(社会科)	研究(Research)と実践(Practice)を往還しなが ら、教育実践研究に取り組みましょう。
 助教 阪上弘彬	社会科教育学、 地理教育、 ESD	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(1)、 社会系教科の授業研究	外国社会科(特にドイツ)カリキュラム研究等を通じ て、日本の社会科研究・実践の在り方を研究してい ます。
 特任教授 今出和利	法学、公法学、 未成年者保護法、 憲法	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(3)	「子ども」「教育」「学校」などに関わる法律を中心 に、比較法的・歴史的視点を踏まえつつ研究してい ます。

Voice

学びは いつからでも始められる

社会系教科マネジメントコース2年

友居秀行さん



私はこれまで15年間、小学校教員として勤めてきました。「もっと社会科教育について学びたい」「理論的に説明できる授業ができるようになりたい」という気持ちの高まりから、大学院の門をたたくことにしました。

周りを見渡すと、私は年齢的に頭一つ抜けています。初めは戸惑いがありました。しかし、ある先生にかけていただいた「学びはいつからでも始められる」という言葉。学びたいという意欲があれば、年齢など関係ありません。今では社会科について仲間と交わす議論や新しい発見に充実した日々を送っています。子どもたちにこれからの社会を生き抜く力をどのように育てていくのか、これからも学び続けていきたいと思っています。

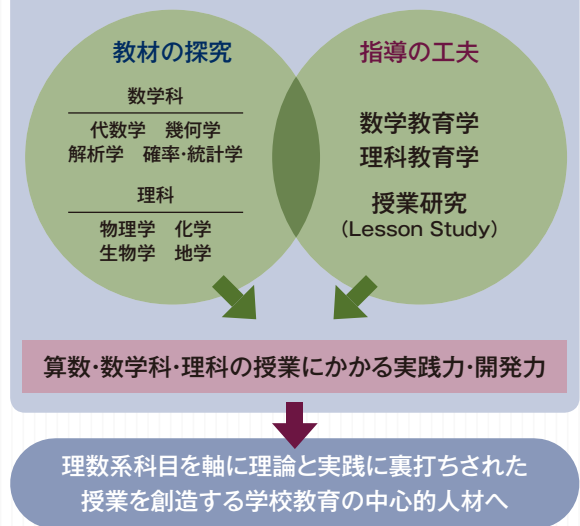
理数系教科マネジメントコース

数学・理科教育を担う人材の輩出を

数学が好き・理科が好きなお子さんを育てるには、先生自身が数
学好き・理科好きであってほしい」という考えの下に、理数
系教科マネジメントコースでは、数学と理科の魅力や楽しさを堪能で
きる教育研究を行っています。身近な現象から定理や法則の支配す
る興味深い世界へ広がっていく様子を子どもに教え、小・中・高校でも
数学・理科の教育を担える人材を送り出したいと考えています。

数学・理科といった理数系科目は特にその系統性が重要であり、
その系統性に対する深い理解と、教育課程の趣旨を捉えた授業を創
造する力に加えて、数学教育・理科教育の観点から授業を解釈・評
価・考察していく力がカリキュラムマネジメントに必要となります。そ
のため、本コースでは、理数系の教科専門と教科教育を融合する教
材研究・授業開発に焦点を当てたカリキュラム編成となっており、そ
れにより数学・理科教育を担う人材を育てることを目的とします。

理数系教科マネジメントコースの人材育成



主な教育実践研究報告書のテーマ

〔数学〕

- ▶ 算数を自ら発見・創造する子どもの育成をめざした授業づくりに関する研究
- ▶ 中学校数学科におけるオープンアプローチによる指導に関する研究
- ▶ 高等学校数学科におけるアクティブ・ラーニングの実現に関する研究
- ▶ 高等学校数学科における数学的モデル化を取り入れた授業づくりに関する研究

〔理科〕

- ▶ 高等学校「生物」におけるバイオテクノロジーに関する実験教材の開発
- ▶ 楽音と音色に関する基礎的研究、および中学校理科のための教材化研究

Voice

深い学びの できる場所



理数系教科マネジメントコース
(数学) 2年
檜皮賢治さん

多くの生徒に数学の面白さを伝えられる
ようになりたいと考え、本コースに入学しま
した。これまで聞いたこともないような新し
い学びばかりで、消化しきれない不安にな
ることもありましたが、先生方の丁寧な指
導もあり、じつじつと学ぶことができてい
ます。これまでの自身の取り組みも振り返り
ながら、理論と実践の融合を志し、研究室
の仲間と楽しく過ごしています。

もっと学びたい！



理数系教科マネジメントコース
(理科) 2年
小倉実さん

「この大学院で学ぶのが楽しい!」と思
い、日々過ごしています。このコースでは、
教員を目指す仲間やさまざまな経験のある
現職教員に出会うことができます。また、熱
心に指導して下さる先生が多いです。これ
から現場に立つ人はもちろん、現場での
経験から新たな発見を生み出すことができ
る環境は、「もっと学びたい」と探究心を持
つことができる場所だと思います。

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
数学	 教授 國岡高宏	教育学、 教科教育学	算数・数学教育の理論と実践、 数学的リテラシーと算数・数学 的活動	算数・数学教育学の理論に裏打ちされた確かな実践力を養ってほしいと思います。
	 教授 濱中裕明	数学、 幾何学、 数学教育学	数学的リテラシーと算数・数学 的活動、 「図形」領域の探究的学習教材	生徒が自ら学ぶことを可能とするような魅力的な数学教材開発を念頭に、数学を探究できたらと思います。
	 准教授 川内充延	数学教育学	算数・数学科の授業づくりと 評価	自分自身の指導経験や学習経験を丁寧に振り返り、先行研究の知見を踏まえた実践力を培いましょう。
	 准教授 小川聖雄	微分方程式、 流体力学	数学教材の背景と応用	純粋数学または応用数学的な研究を行います。教育現場での実践に生かしてほしいと考えています。
	 准教授 吉川昌慶	代数学、 代数的組合せ論	「数と式」領域の探究的学習 教材	代数的組合せ論を主に研究しています。代数学や代数的思考に関する数学教育の研究にも興味があります。
	 准教授 加藤久恵	算数教育、 数学教育	理数系教科教育実践研究	子どもが算数数学を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもなりの考え方を生かした授業づくりを研究しています。
理科	 教授 庭瀬敬右	ナノ・マイクロ科学、 物性物理学、 理科教育学	授業の指導計画と教材研究の 演習、理科授業の理論と実践 (エネルギー)	ミクロの世界の観察や実験、モデル化を通して、自然界の美しさと物理の面白さを共に実感しましょう！
	 教授 笠原 恵	生物教育、 分子生物学、 遺伝学	理科授業の理論と実践(生命)、 理科教材開発実習B	生命現象や身近な生物の不思議に興味を持ち、さまざまな視点からそれらを考察し視野を広げてほしいと思います。
	 教授 小和田善之	機能物質化学、 量子材料化学	理科授業の理論と実践(粒子)、 理科実験開発実践演習I・II	身近な物質に起きる反応や現象を原子・分子の世界から考察することで、化学への理解を深めてほしいと思います。
	 准教授 石原 諭	場の理論、 素粒子理論、 物理教育	理科教科内容論I、 理科実験実地演習	物理は自由だ。教育研究テーマについても自由な発想で考えてみてください。
	 准教授 竹村静夫	構造地質学、 層序学、 地学教育	理科授業の理論と実践(地球)、 理科教材開発実習B	フィールドは教材の宝庫です。野外調査の基本をマスターし、現場での教育に役立ててください。
	 准教授 山口忠承	教育工学、 科学教育、 有機光化学	理科授業の理論と実践(粒子)、 理科教材開発実習A	化学を通じて身の回りにある物質が役に立っていることや物質の変化に興味を持ってほしいと思います。
	 准教授 猪本 修	非線形物理学	理科授業の理論と実践(エネルギー)、 理科教材開発実習	マクロな系の協力現象を研究しています。物理教育に関する教材開発研究やアプリ開発なども行っています。
	 助教 山本将也	植物進化多様性学、 分子系統地理学、 保全遺伝学	理科授業の理論と実践(生命)、 理科教材開発実習B	植物がたどってきた歴史や生き方を紐解くことで「動けない生き物」である植物の面白さを体感してほしいです。

小学校教員養成特別コース

教育実践力と魅力のある先生を育てる

小 学校教員には、深い児童理解に支えられた学級づくりや授業づくりとともに、地域や保護者との連携や自らが学び続けることが求められています。そのため、本コースでは、「学級経営」「教科等の指導」「個の課題」「教育実践研究」「教科の授業内容・方法」の5分野で編成された多様な授業科目と、大学と学校現場が一体となった実地研究（実習等）などの特色ある授業内容に加えて、少人数ゼミを通じた細やかな指導、教員採用に向けた手厚いサポート体制を整えています。

また、これからの学校現場は、Society5.0時代に生きる子どもたちのために、学習者用デジタル教科書の導入などICT機器をこれまで以上に活用し、一人一人の子どもたちに個別最適化された学びや創造性を育むことが求められています。一方、体験学習などの重要性がますます高まることは言うまでもありません。これらに対応するスキルを備えた教員を養成するため、従来の小学校教諭免許状を取得していない人を対象とした3年制コースに加え、すでに小学校教諭の免許状を持っている人を対象にした2年制コースを新設しました。

3年制コース

対象 これから小学校教諭免許状を取得しようとする人
本学学校教育学部で教職課程と教職大学院の授業科目を併せて履修することで、小学校教諭専修免許状を取得できます。現在、小学校教諭免許状を取得していない人でも、一から小学校教諭免許状を取得できます。

同コースの
学生対象

授業料免除の制度を新設！

詳しくはp.48、p.58へ

2年制コース

対象 既に小学校教諭1種または2種の免許状を取得している人
学校教育の最新動向や学校現場の実情を踏まえ、学生一人一人がこれまでに培った力をより一層、実践的なものに向上させ、自信を持って小学校の教壇に立てよう、教員としての確かな基盤を身に付けることを目的としています。修了時には、小学校教諭専修免許状を取得できます。



学びのフロー図 変更する可能性があります。

年次・期 コース	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
3年制 コース	小免取得科目	小免取得科目・ 専門科目	小免取得科目・ 専門科目	初等実習 4週 小免取得 科目	小免取得科目・ 専門科目	専門科目
				実地研究I・II 計10週	インターンシップ（通年60時間以上）	
2年制 コース	共通基礎科目・専門科目		専門科目			
	インターンシップ（通年60時間以上）			基盤実習 4週 指導力向上実習 6週		

実習では、教科の指導内容・方法・技術をはじめ、特別活動、生徒指導、担任業務など多岐にわたる小学校現場において、授業づくりや学級づくりについて学びます。連携協力校の学級担任（メンター）と大学の修学指導教員、学生が協働してチーム・コンサルテーションを実施し、学校現場における実践的指導力の向上や自己教育力の基礎を修得します。

主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 日本の伝統文化を視点とした小学校社会科授業開発—第3学年単元「長田神社の追儺式」の場合—
- ▶ 小学校外国語教育におけるアクティブ・ラーニング—対話を取り入れることによる学びの深まりに着目して—
- ▶ 多様な問いの追究を促進する知識構成型ジグソー法の導入—小学校第6学年理科「水溶液の性質」における授業開発—
- ▶ アサーション・トレーニングを用いた人間関係調整力の育成に関する研究—小規模校の課題に焦点を当てて—
- ▶ 総合的な学習におけるメタ認知能力の育成—グループ・プロジェクトの関係理解機能に着目して—
- ▶ メディア・リテラシーの育成を意図する小学校社会科授業デザイン開発

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 関 浩和	社会認識教育学 (社会科・生活科)、 教育課程論	特色あるカリキュラムの理論 と実際A・B、教科・領域の 内容・指導法研究Ⅲ(社会科)	研究(Research)と実践(Practice)の往還を意識し ながら、教育実践研究に取り組みましょう。
 教授 吉川 芳則	国語科教育学	教科・領域の内容・指導法研究Ⅰ (国語科)、児童生徒を活かす 学級経営の実践演習A、B	言葉によってよく思い、表現することで豊かに生きる。 このことにつながる授業づくりを追究しましょう。
 教授 筒井 茂喜	健康・スポーツ科学、 身体教育学、 体育科教育学	初等体育科教育法、 教科・領域の内容・指導法研究Ⅳ (体育科)	「運動が上手にできる子ども」を育てる「よい体育授業 づくり」を講義(理論)と模擬授業を通して考えます。
 教授 河邊 昭子	音楽科教育学	教科・領域の内容・指導法研究Ⅰ (音楽科)、特別活動指導と自 治的文化活動の展開	小学校教員に求められる実践的指導力とともに、自己 の人間力を向上させることができるコースです。
 教授 勝見 健史	国語科教育学(単元学習論)、 教育方法学(評価論)、 教育鑑識眼	授業における評価の基準作成 理論と学力評価法B、 総合学習の創造過程と評価法	評価論を視点とした授業改善、特に単元組織・質的 評価・学習支援に関する実践的研究に取り組んでい ます。
 教授 別惣 淳二	教育実習、 教師教育、 教育経営学	教育実地基礎研究Ⅰ、 教育実地基礎研究Ⅱ	本コースでは、学生が自身の教育実践を対象として 研究し、論文にまとめる力を身に付けてほしいと思い ます。
 教授 山本 智一	理科教育・科学教育、 アーギュメント、 総合学習	教科・領域の内容・指導法研究 Ⅳ(理科)、 総合学習の創造過程と評価法	科学的な説明活動の授業への導入や、社会における 科学問題の教材化に関する指導法開発に取り組んで います。
 教授 前芝 武史	彫塑・デッサン、 美術解剖学	彫塑造形論、 彫塑教育論	彫塑教育論(特別支援教育含む)を研究しています。 事象の本質を掘り下げた教育を行いたいと思います。
 准教授 鈴木 正敏	幼児教育、 多文化教育	教育実地基礎研究Ⅱ、 授業におけるICT活用	実践的な知見を基に、子どもたちが楽しく主体的に学 べる授業づくりを目指します。
 准教授 加藤 久恵	算数教育、 数学教育	教科・領域の内容・指導法研究Ⅱ (算数科)、教育実地基礎研究Ⅰ (レポート作成法の研究)	子どもが算数を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもの 考え方やつまずきを生かした授業づくりを研究してい ます。

小学校教員養成特別コース(3年制コース) 希望者はここに注目

小学校教員養成特別コース (3年制コース) 学生対象授業料免除

小学校教員養成特別コース(3年制コース)の学生は、小学校教員免許に関する所定の単位を修得できる場
合は2年次に教員採用試験を受験することが可能です。2年次に教員採用試験に合格し、各自治体の採用猶
予を受けて教職大学院の修学を継続する者は3年次の授業料を免除します。

Voice

夢をかなえるために

小学校教員養成特別コース2年

澤谷真生さん



学部では経済学部にも所属していましたが、教員になる夢を諦めきれず、大学
院でありながら一から学んで教員免許を取れるこのコースに進学しました。専
門性の高い先生方の講義を受けることで知識や知見の深化を感じられ、日々、
学び続け成長し続けることができる環境が整っています。教員採用試験に向け
た対策も充実しており、毎週開かれるセミナーや講座だけでなく、経験豊富な
コーディネーターの方からの手厚い指導も充実しています。小学校の教員にな
りたいという同じ夢を持った仲間たちと、互いに支え合い、刺激し合うことが
できるのもこのコースの魅力だと感じています。

グローバル化推進教育リーダーコース

グローバル教育、進んでいますか？

グローバル化推進教育リーダーコースでは、グローバル化が進む社会に対応できる児童生徒を育てるスクールリーダーを育成します。国際社会のさまざまな事情について学び、考え、議論し、批判的思考力を身に付けるとともに、柔軟な理解力を養います。また、国の内外を問わず人々が共に生きるための基盤となるコミュニケーション力をつけ、それらを総合的に実践できる教員を養成します。

これらを遂行するために、以下のような取り組みを行っています。

- 各教科にグローバル教育を盛り込んだ授業開発
- 学校の先生方を対象としたグローバル教育研修開発

「国際理解教育」「国際教育協力」等の科目において専門知識を習得します。「世界の教育」では、オンラインで世界各国の教育関係者からその国の教育事情について学び、国内・海外で実施するフィールドワークでは、学校や教育関係機関を訪問して、多様な現場からグローバル教育の実践を学びます。さらに、研究課題に即した教育実践に取り組める実習科目が設定されており、段階的に実践力が身に付くカリキュラムが編成されています。

グローバル教育リーダー

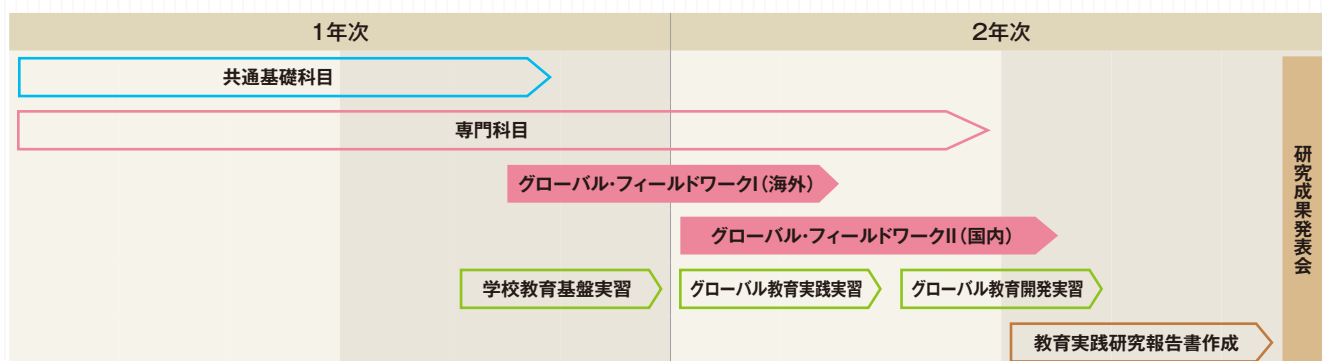
グローバルな視点

批判的思考力

国際理解力

コミュニケーション力

2年間の学びの流れ 変更する可能性があります。



主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 小学校におけるグローバル化教育の一方策－学校経営の視点から実践例の提示－
- ▶ 主体的に英語を学ぶ児童を育成するための実践－相手が見える国際交流を通して－
- ▶ 小学校外国語におけるグローバル化教育の展開－グローバルイシューを組み込んだレッスンプランの提示－
- ▶ R高等学校における国際教育の改善に向けて－国内外の交流、英語教育を通して－
- ▶ 日本人学校における特別支援学級の開設とその運営状況

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 川崎由花	教育学	国際理解教育、世界の教育、英語を活用した論理的思考、英語を活用した授業研究、グローバル・フィールドワーク1(海外)	語彙習得等の学習効果についての研究が専門ですが、グローバル教育を盛り込んだ授業開発にも取り組んでいます。

*専任教員が着任予定



授業をクローズアップ!

研修留学生を迎えて英語でディスカッション

実用外国語演習



モロッコ、ガボン、マラウイからの研修留学生が英語の授業に参加してくれました。皆さん自国では英語の先生です。日本の英語教育の在り方について意見を述べ合い、活発なディスカッションとなりました。

国際学会で発表する学生

グローバル教育実践課題研究

学

生たちは国内外の学会で研究成果を発表しています。写真は、平成29年7月に広島で行われた国際学会において、高校生対象の異文化理解に関する新しい教育的アプローチについて、英語で発表をする様子です。



フィリピンの小学校訪問



台湾の中学校訪問



ベトナムの小学校で模擬授業

Voice

新たな出会いに感謝

グローバル化推進教育リーダーコース2年

石田紀代子さん



「グローバル人材を育てるとは?」このテーマについてもっと知見を深め、もっと学んで生徒に向き合いたいと思い、入学を決めました。大学院では専門だけでなく、学級経営、教育評価など、最新の教育知識を学ぶ機会もあり、さまざまな校種や年齢の同級生との議論を楽しんでいます。

専門科目ではZoomを使ってフィリピンやオランダの現地の先生から世界の教育について授業を受けたり、自国では現職教員である留学生を交えた授業などもあり、世界の多様性を実感できます。また、国内外でのフィールドワークでは、自らの研究テーマに合わせた学外での学びも可能です。先生方や友人、学びとの出会いに感謝して研究を深めていきたいと思っています。

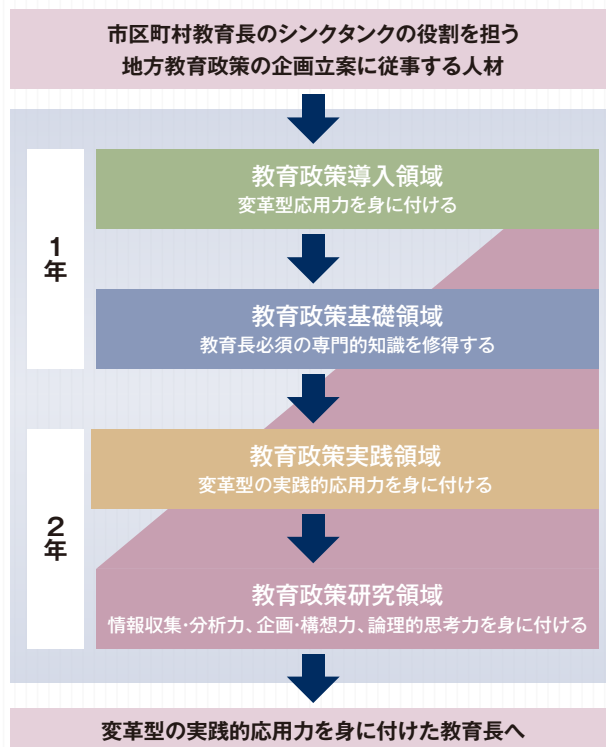
教育政策リーダーコース

日本の新しい地方教育行政をリードする人材育成

地 方教育行政の組織および運営に関する法律が60年ぶりに改正され、地方教育行政のリーダーの役割はますます重要なものとなりました。未来を創る子どもたちの教育に加え、地方分権化社会における新たな地域社会を創り出すために、教育行政の役割はかつてないほどの転換期を迎えています。

そのような中、教育政策リーダーコースは日本で初めてとなる、現職教育長や将来の教育長候補および教育行政の幹部の養成コースです。多忙を極める学生のために、修学形態を教員が出向いて行う授業と、VOD（ビデオ・オン・デマンド）による授業、ウェブ会議システムを用いた双方向型授業、半期に数日程度の神戸ハーバーランドキャンパスにおける集中授業とし、学生の業務への影響軽減を図るなど、学びやすいものとしています。

また、海外、自自治体首長部局・教育機関、他自治体等で実習を行う実習科目も充実しており、教員と実習先のメンターとの綿密な連携と指導により、地域教育行政の変革を推進し得る資質能力の獲得を図ります。



授業をクローズアップ!

自治体教育政策の実践事例から学ぶ

教育政策実践論

担当教員：押田貴久准教授、富田明徳附属小学校長



自 自治体と比較自治体におけるさまざまな教育政策の実践事例の検討を踏まえ、その実践者を招聘または訪問し、講義・演習に基づく経験交流や意見交換、データ収集を行います。これらを通じ、地域の教育課題に応じた政策案の構想を目指します。

現職の教育長等と共に学ぶ交流型演習

教育行政マネジメント特論演習Ⅰ・Ⅱ

担当教員：日渡円特別教授、倉見昇一教授、葛西耕介客員准教授

ト ップリーダーとしてのマネジメントについて、学生以外の教育長等と共に公開型の演習形式で学びます。お互いに議論を深め、その中から自分なりのマネジメントの在り方について考え、実践に結び付けます。



主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 児童・生徒数が減少する地域における教育環境の整備に関する考察
- ▶ 教育長と首長の連携・協働による教育行政の新たな展開～魅力ある学校づくりで選ばれ続ける自治体をめざして～
- ▶ 児童生徒の学力向上と地域社会の利益創出を保障するコミュニティ・スクールの在り方～社会に開かれた教育課程の創造を通して～
- ▶ 新教育委員会制度における教育委員の果たすべき役割～「民意吸収」と「民意実現」の視点から住民統制的教育委員会の実現を目指す～
- ▶ 小規模自治体教育委員会における学力保障施策の有効性～人口10,000人未満の自治体における学力向上のための施策モデル～
- ▶ 「地域とともにある学校」の構築を支援する教育委員会の在り方

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 特別教授 日渡 円	教育政策、 研修プログラム開発、 コミュニティスクール	教育行政マネジメント特論演習 I・II、 地域と学校	新制度下の教育長に必要な資質能力と養成について 研究しています。
 教授 倉見 昇一	教育行政、 マネジメント	教育行政の立案と分析、 教育行政マネジメント特論演習 I・II	国や教育委員会、学校の管理職の経験を踏まえ、教育 行政やマネジメント等について研究を進めています。
 准教授 押田 貴久	教育行政、 教育政策、 カリキュラム開発	教育政策実践論、 教育法規の理論と実践	自治体における教育政策過程に関する研究を行って います。教育課題の解決に向け、共に考えていきま しょう。

 客員教授 天笠 茂
 客員教授 藤川 聡
 客員教授 今中博章
 客員准教授 阿内 春生

 客員教授 新井 肇
 客員教授 水本徳明
 客員教授 小川 正人
 客員准教授 上田真弓

 客員教授 佐藤 克敏
 客員教授 青木 栄一
 客員教授 露口 健司
 客員准教授 葛西 耕介

Voice

無謬の力を

教育政策リーダーコース2年

伊田典穂さん



大学院の学びは、教育行政に対し「^{むびょう}無謬の行動を起すこと」であると伝えられました。「無謬」とは教育行政の判断を正しく行う力です。校長経験しかない私は、教育長として無謬に行う力量があるはずもなく、時代の転換期にある教育行政に求められる学びがスタートしました。コロナ禍にありながら工夫された講義は、今をより良くする着眼点とともに、自治体の存続をかけた未来予想図を描くために、自らの発想を広げ、探究心に向き合い妥協という壁を乗り越える厳しい問い掛けでもありました。考え抜かれたカリキュラムの提供と、高い志を持った学友との学びが、きっと次代を切り拓く教育の道程を照らす明かりとなるであろうと予感しています。

学校教育コース

教育実践研究の力量を高める

学 校教育コースは、働きながら学びたい現職教員のニーズに応えるための夜間クラスのためのコースです。本コースでは、小学校を中心に、学校現場での学習指導力や生徒指導力といった教員に必要な資質・能力を、高度で幅広い知識獲得、学校で起こる具体的課題の協働的解決を通して身に付けます。

このような資質・能力を身に付けるために、本コースのカリキュラムは2つの特徴を持っています。1つ目は、日頃の学校現場での教育実践を検証・改善するゼミナール形式のリフレクション科目です。院生は、その過程を蓄積してポートフォリオとしてまとめます。現実には起こっている課題や参考になる先進（または好）事例などをチームで検討し、最適解を導く過程を重視します。また、リフレクションの過程をコース学生全員で共有するオープンゼミを定期的に行います。2つ目は、各教科の教材研究、授業づくりなどを中心に、幅広いニーズに応えるカリキュラムを編成していることです。

本学教職大学院の特徴は、多くの現職教員が学んでいることです。現職教員同士の交流によって、学校現場の理解が一層深まります。これまでの夜間クラス修了生からは、生涯の友を得た本当に貴重な学びの場であったとの声が多く寄せられています。



■日頃の教育実践のリフレクションが核となる2年間の学び

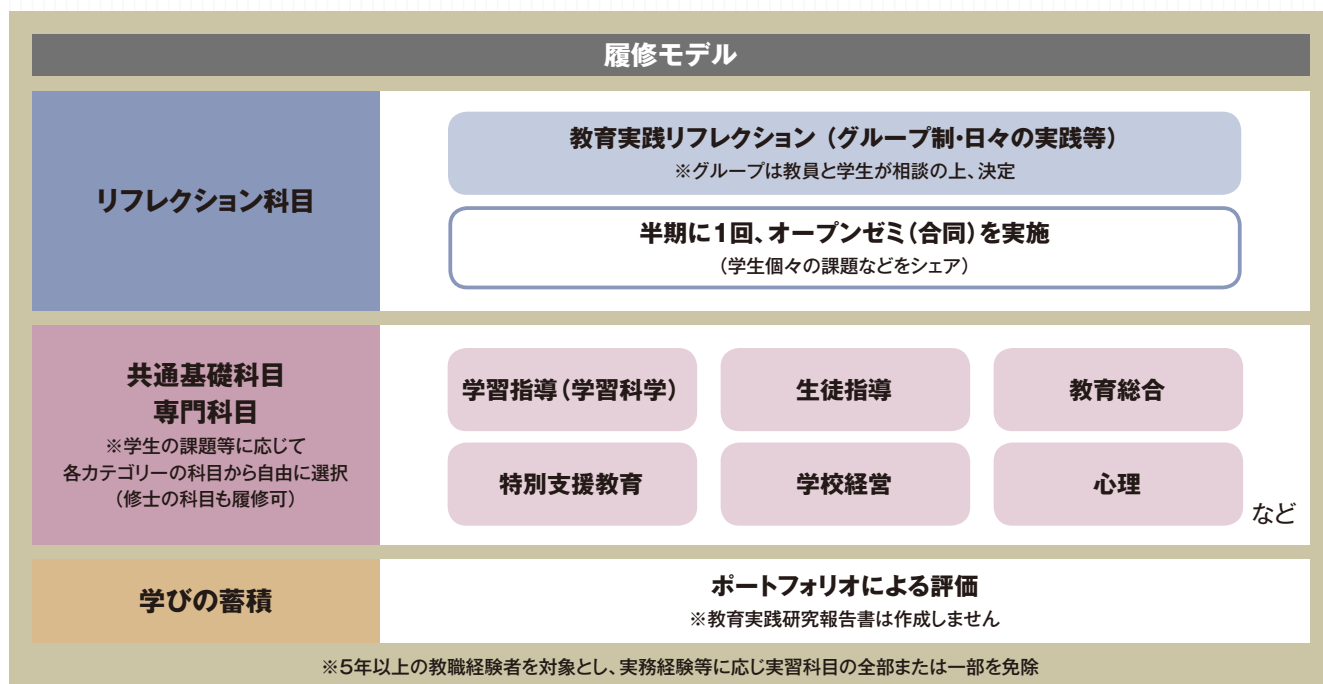
1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期	
リフレクション科目							
テーマ設定	オープンゼミ	立案 ↓ 実践 ↓ 省察 ↓ 改善	オープンゼミ	立案 ↓ 実践 ↓ 省察 ↓ 改善	オープンゼミ	立案 ↓ 実践 ↓ 省察 ↓ 改善	オープンゼミ
共通基礎科目 専門科目		共通基礎科目 専門科目		専門科目		専門科目	
学びの蓄積 ポートフォリオ							
学校現場等における教育実践							

担当教員

(変更する場合があります)

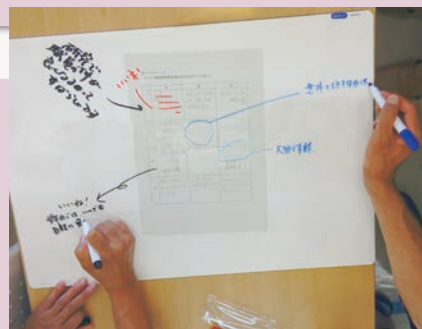
	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
	教授 筒井茂喜	健康・スポーツ科学、 身体教育学、 体育科教育学	教育実践リフレクション等	生活や授業における子どもの発言、行動の持つ意味を客観・論理的に振り返り、学級づくりおよび授業改善に生かす。こんな学びを共に考えましょう。
	教授 勝見健史	国語科教育学(単元学習論)、 教育方法学(評価論)、 教育鑑識眼	教育実践リフレクション等	各校の課題に関わりながら、教師の力量に還元させていく実践的研究に取り組んでいます。皆さんの自律的な研究展開のサポートができればと思います。
	教授 山本智一	理科教育・科学教育、 アーギュメント、 総合学習	教育実践リフレクション等	日々の授業実践や学級づくりについて、子どもが知識や文化を構築するプロセスに注目しながら分析し、よりよい実践を目指していきます。
	准教授 山内敏男	教育学、 教科教育学、 社会科教育学	教育実践リフレクション等	社会科教育・認知心理学・教員研修に関わる研究に取り組んでいます。「教える・学ぶ」は他者の介在なしには深まらないことを授業の実際から考えます。
	准教授 加藤久恵	算数教育、 数学教育	教育実践リフレクション等	数学的な見方・考え方や、メタ認知を育てることを目指して、子どもの考え方やつまづきを生かした授業づくりを研究しています。

学校教育コースの特徴 働きながら学べる夜間のみのコース



リフレクション科目の特色

リフレクション科目では、学習指導や生徒指導など日頃の教育実践を客観的・科学的に振り返ることで、新たな発見や気づきを得て教育実践の改善につなげる未来志向の方法論を学びます。例えば、授業の流れや生徒指導に関する自分自身の行動や考え方などについて、「できたこと」と「やりたかったこと」などの差異に着目し、それを生んだ要因を先行研究や先進事例の知見を参考にしながら検討することで改善策を考え、新たな教育実践につなげます。



教育プログラム

大学院に在学しながら数学または理科の教員免許状を取得

理数系教員養成特別プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系教科マネジメントコース」を志願する人

プログラムの特徴

- ▶ 大学院に在学しながら数学または理科の教員免許状を取得
- ▶ 教員免許状を持っていない人も対象
- ▶ 大学院の教育課程と学部 of 教職課程を併せて履修
- ▶ 長期履修学生制度(3年間)を活用(授業料は大学院2年分のみ)
- ▶ 理科の実験指導のための授業科目が充実
- ▶ 大学院の科目に併せて体系的な学校現場での実習を実施
- ▶ 受講者のためのアドバイザー教員を配置
- ▶ 受講者専用の部屋(プログラム支援室)を自然、生活・健康棟に整備
- ▶ 修了者のほとんどが現職教員として活躍中

3年間で大学院の教育課程と学部 of 教職課程を履修し、数学または理科の教員免許状を取得して中学校や高等学校の教諭を目指すプログラムです。学部と大学院の科目を両方履修することで、理数系教員としての教科・教職に関する高度な専門知識を修得します。また、これらの学部・大学院の科目に加え、本学学部の実地教育と大学院専門職学位課程における学校現場での実習によって、実践力のある教員を養成します。

本来、専門職学位課程(教職大学院)は教員免許状を持っている人が対象ですが、本プログラムの受講生の場合は学部段階で教職課程を全く履修していなかった人(教員免許状を持っていない人)も教職大学院に入学することができます。長期履修学生制度を活用して3年間で大学院を修了し、学費は大学院2年分の授業料を3年間に分割して納入します。学部の教職課程を履修する費用はかかりません。そして、大学院修了時には中学校教諭・高等学校教諭専修免許状の「数学」または「理科」のいずれかを取得できます。

本プログラムの受講生は、専門職学位課程の理数系教科マネジメントコース志願者に限ります。また、同コースの「数学」または「理科」の分野のうち、プログラムで志願する免許と同じ分野を志願する必要があります。詳細は大学院学生募集要項等をご覧ください。

受講希望者は、8月選抜または11月選抜の大学院の入試とともに、本プログラムの選考試験も受験してください。

特別支援教育の知識・技能を修得

特別支援教育プログラム (神戸ハーバーランドキャンパス・夜間のみ)

対象 夜間クラスの学生

神戸ハーバーランドキャンパスの夜間クラスにおいて、特別支援教育領域(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)の各領域の授業科目を開講し、特別支援教育に対する十分な知識・技能を修得できるよう支援します。3年以上の教職経験のある人は、授業科目の履修状況に応じて特別支援学校教諭(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)の各領域の1種または2種の教員免許状を取得することが可能です。

3年で本学と海外の大学の2つの学位を取得

ダブルディグリープログラム

対象 修士課程を志願する人(8月選抜のみ)

※臨床心理学コース・発達障害支援実践コース・各コース夜間クラスを除く

教師教育の分野における教育研究を国際的にリードするグローバル人材の養成を目的に、3年間で本学大学院修士課程[在学期間:1年6カ月]と韓国または台湾の協定大学の大学院修士課程[在学期間:1年6カ月]の教育課程を履修するものです。修了時には本学と協定大学の双方の学位を取得できます。

協定大学

- ▶ 大邱教育大学校(韓国)
- ▶ 京仁教育大学校(韓国)

- ▶ 屏東大学(台湾)
- ▶ 台北教育大学(台湾)
- ▶ 高雄師範大学(台湾)

兵庫教育大学では、各専攻・コースの正規カリキュラムに加え、現代的な教育課題やニーズに対応した多彩な教育プログラム等を開設しています。各専攻・コースで自身の専門性を高めるとともに、教育プログラム等で教員としての多様な能力の向上や教員としての幅を広げてください。

現場の子育て支援課題に対応する力を養う

子育て支援コーディネーター 養成プログラム

対象 修士課程の「幼年教育・発達支援コース」に所属する学生

今日、幼保連携型認定こども園、幼稚園、保育所では子育て支援機能の充実が図られており、地域においてもさまざまな子育て支援事業が展開されています。そのため、保護者支援や地域連携などの子育て支援の専門性が強く求められています。本プログラムでは、修士課程の幼年教育・発達支援コースの学生を対象に、多様化する子育て支援の課題に対応するための専門性を身に付けた人材を養成します。本学の子育て支援ルームや附属幼稚園、地域の子育て支援施設での演習を含む所定の科目の単位を修得することにより、「子育て支援コーディネーター」の認定証が授与されます。

健康教育を実践できるスペシャリストを目指す

健康教育実践プログラム

対象 修士課程の「学校心理・学校健康教育・発達支援コース」または「生活・健康・情報系教育コース」に所属する学生

児童生徒の健康課題は、飲酒、喫煙、薬物乱用、問題ある性行動などの危険行動、心の健康問題、食習慣の乱れ、運動不足、睡眠不足、インターネットの過剰使用、アレルギー性疾患など複雑化、多様化しており、学校には、健康に関わる社会的要因を踏まえ家庭・地域、専門機関等と連携した健康教育が求められています。「健康教育実践プログラム」は、そのような健康教育の開発、実施、評価等の実践力の向上を目指します。健康教育の基礎的内容に関する2科目から2単位以上、専門的内容に関する8科目から8単位以上履修することにより、履修証書を取得できます。

理科の実験・観察指導のスペシャリストを養成

コア・サイエンス・ティーチャー (CST) 養成プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系教科マネジメントコース(理科)」に所属する学生

実験や観察を中心とした科目群を履修することで、児童生徒に理科の面白さを伝えることができる知識と技能を修得し、地域の初等・中等教育の場で指導的な役割を担う理科教員の養成を目的としています。

専門職学位課程(教職大学院)の理数系教科マネジメントコースで開設する授業科目から所定の単位を修得の上、CST養成プログラム運営室が認定した演習やセミナー等に出席することにより、履修証書を取得できます。

理数系教員養成特別プログラムとの重複受講が可能です。

大学院で小(中)学校の
教員免許状を追加で取得

小中連携教育プログラム

詳細はp.3を参照

博士課程への進学を見据えた
よりアカデミックなスキルを修得

研究力向上特別プログラム

詳細はp.60を参照

修学支援

入学料・授業料(令和3年度入学生)

入学料 28万2,000円 入学手続き時に納付

年間授業料

一般学生(2年)	長期履修学生許可者(3年) 理数系教員養成特別プログラム受講者を含む ※通常の2年分の授業料を3年間で分割納入することになります	小学校教員養成特別コース(3年制コース)
53万5,800円	35万7,200円	53万5,800円

年額の2分の1を2回(前期・後期)に分けて納付【納付期間】前期5月1日～31日、後期11月1日～30日

●在学中に授業料の額が改定された場合は、その時点から新たな授業料が適用されます ●2年次から、長期履修学生(3年)から標準修業年限(2年)への変更を許可された場合、標準修業年限(2年)と長期履修学生(3年)の授業料の金額(前期・後期合計)の差額17万8,600円を1年次の許可時に納付していただきます。また、2年次から新たに長期履修学生(3年)になることを許可された場合、2年次前期分から長期履修学生(3年)の授業料の金額を納付していただきますが、入学当初からの長期履修学生より授業料(3年)の総額が17万8,600円増となります。

長期履修学生制度

職業を有しているなどの事情により、2年の修業年限で教育課程を履修することが困難な学生を対象に、計画的に教育課程を履修することができる「長期履修学生制度」を設けています。この制度を利用すれば、3年をかけて自分のペースで無理なく授業や研究指導を受けられ、学業と仕事を両立しやすくなります。

●長期履修を申請できる人

- ▶夜間クラス志願者で職業を有する等の事由のある者
- ▶理数系教員養成特別プログラム受講申請者
- ▶教育政策リーダーコースまたは学校教育コース志願者で職業を有する等の事由のある者

入学料の免除(全額または一部免除)・徴収猶予

条件: 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または入学前1年以内に学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

授業料の免除(全額または一部免除)

条件: 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者。または各期の納期前6カ月以内(新入生は入学前1年以内)に学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

令和2年度実績		
● 入学料免除	● 授業料免除(社会人経験のある学生および現職教員学生対象の授業料免除を除く)	
申請者24人	前期分: 申請者48人	後期分: 申請者51人
全額免除…0人	全額免除…24人	全額免除…24人
4分の3免除…0人	4分の3免除…7人	4分の3免除…12人
半額免除…21人	半額免除…11人	半額免除…10人

奨学金制度等

日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構では、学業、人物がともに優れ、経済的な理由により修学が困難であると認められる者を対象に、奨学金を貸与しています。貸与月額は第一種奨学金は5万円または8万8,000円、第二種奨学金は5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択します(令和2年度入学生実績)。

令和2年度奨学生

84人(併用貸与者8人を含む) 第一種73人、第二種19人
※全体の23%

※長期履修学生の第一種奨学金は3年間のうち2年間の貸与となります
※詳しくは日本学生支援機構ホームページ <http://www.jasso.go.jp/> をご覧ください

兵庫教育大学独自の奨学金・授業料免除等

社会人経験のある学生	● 授業料の免除 「学び直し」やスキルアップを図りたい社会人経験のある学生を対象に、就学機会を確保するための授業料を免除する制度です。 【免除対象者】現在職に就いている者／2年以上の社会人経験(家事・家事従事を含む)のある者 【令和2年度実績】前期分：全額免除…12人、4分の3免除…2人(申請者26人) 後期分：全額免除…14人(申請者26人)
教員採用猶予制度を活用して大学院学校教育研究科に入学した学生	● 奨学金の給付(兵庫教育大学特例制度利用者奨学金) 教員採用猶予制度を活用して大学院学校教育研究科に入学した学生に対し、申請によって奨学金を給付します。
現職教員学生	● 授業料の免除 大学院修学休業制度利用者(勤務先から給与等が支給されない現職教員学生)は申請によって、他の授業料免除とは別枠で授業料を免除する制度があります。 【令和2年度実績】前期分：全額免除…12人(申請者12人) 後期分：全額免除…12人(申請者12人) ● 研究経費の助成 大学院で取り組む実践的な研究に対して経費を助成します。 【応募資格】現職教員学生(当該年度中に収入が無い者(大学院修学休業制度利用者)を優先します) 【助成金額】1人当たり年間10万円
大学院学校教育研究科1年に在籍する学生	● 研究経費の助成(大学院同窓会研究助成金) 大学院で取り組む研究に対して経費を助成します。入学後に申請し、1年次1月から2年次2月まで使用できます。 【助成金額】1人当たり20万円
大学院学校教育研究科(全学年)に在籍する学生	● 奨学金の給付(兵庫教育大学学会発表奨励金) ファーストオーサーとして全国的な学会で行う発表に対して、申請によって奨励金を給付します。 【給付金額】学会開催地により決定(1人当たり最高3万円)
新型コロナウイルス感染症感染拡大による家計急変のあった学生	● 入学科・授業料の一部免除 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があった者のうち、当該事由に基づく公的支援を受給している者、または事由発生後の世帯収入が前年と比較し、2分の1以下となっている者を対象に、入学科および授業料の3分の1の額を限度として免除する制度です。 ● 入学科・授業料の徴収猶予 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があった者のうち、申請により入学科・授業料の納付が猶予されます。
小学校教員養成特別コース(3年制コース)に在籍する学生	● 授業料の免除 2年次に教員採用試験に合格し、かつ教員採用猶予制度を利用して3年次に進級する学生に対して、3年目の授業料を免除します。
海外に留学する学生	● 海外留学支援授業料免除 海外の協定大学に派遣留学する、学業成績が特に優秀であると認めた学生に支給します。 【免除金額】1年間の授業料全額 ● 海外留学支援特別奨学金 海外の協定大学に派遣留学する、学業成績が優秀な学生に支給します。 【支給金額】米国、ドイツ、スイス、フィンランド…1人当たり30万円 中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム…1人当たり10万円
本学附属学校教員大学院派遣制度	● 入学科・授業料の免除 教育委員会との人事交流により本学附属学校園に派遣された教員のうち、一定の要件を満たし、校園長の推薦を受け、学長が認めた者について、大学院に入学できる制度を設けています。

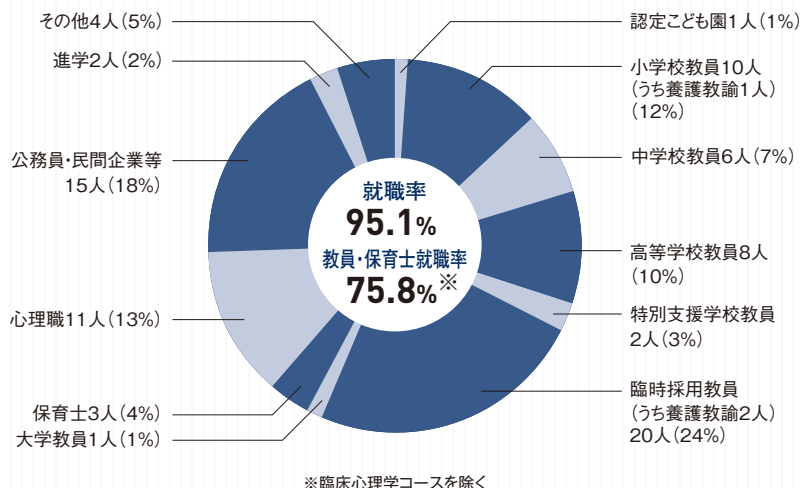
修了後の進路・就職

教職をはじめ、保育士、心理職に従事する人など
多様な分野で活躍しています。

令和元年度 大学院学校教育研究科修了者の就職状況 (現職教員・留学生等を除く就職・進学を希望する者) 令和2年9月30日現在
令和元年度教員・保育士就職率

修士課程 (83人)

ほとんどの修了生が
教員や心理専門職に
就職しています



主な就職先

教員

兵庫県20、神戸市1、大阪府4、神奈川県2、島根県2、大阪市1、京都府1、香川県1、岐阜県1、熊本県1、佐賀県1、鳥取県1、富山県1、北海道1、福井県1、横浜市1、私立5、大学附属2

心理職

病院・クリニック、市役所、少年鑑別所 (法務技官)、教育・福祉センター、障害者支援センター 他

公務員・民間企業等

児童指導員、地方公務員、県立病院、日本年金機構、学習塾、スポーツクラブ 他

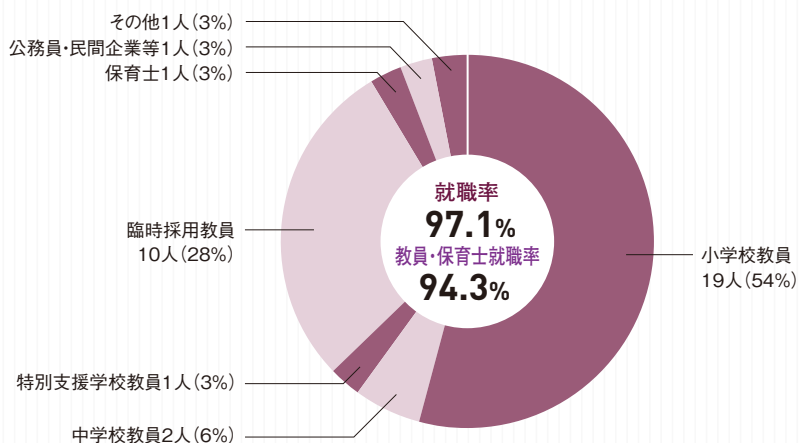
進学

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科 他

専門職学位課程 (35人)

全国の自治体で
活躍しています

正規合格率70%
(大学院進学特例制度を
活用した学生は10人)



主な就職先

教員

兵庫県14、神戸市2、鳥取県3、高知県3、大阪府2、岡山県1、北九州市1、京都府1、長崎県1、福岡県1、三重県1、山口県1、横浜市1

民間企業等

児童支援センター 他

PickUp

教授特別講座

大学院学生限定で
教授特別講座「教
採バル」を開講し
ています。



キャリア支援

教職キャリア開発センターでは、教員就職支援を中心に学生の多様なニーズに応じた支援を行っています。

就職支援

- ▶元公立学校校長等経験者やキャリアアドバイザーによる就職相談
- ▶教員採用試験対策特別講座、筆記講座、実技対策他（大学院学生のみを対象とした教授講座も開講しています！）
- ▶教員採用試験対策模擬試験
- ▶教員採用試験対策模擬面接
- ▶教員採用試験学内説明会
- ▶公務員採用試験対策模擬試験
- ▶就職に関する書籍の貸出、情報提供 など



集団討論練習会

ちょっと気になるQ&A

Q どのような支援を受けることができますか。

教職キャリア開発センターでは、教員・保育士希望の学生向けに元小学校・中学校・高等学校長等による個別面談を、公務員・民間企業希望の学生向けには木曜にキャリアアドバイザーによる個別面談を実施しています。面談では、面接・模擬授業対策からES添削等に至るまで幅広く対応しています。

また、就職対策講座はもちろんのこと、就職後にも生かせるキャリアデザイン講座を開講しています。

Q 兵庫県以外の教員採用試験に対応していますか。

各自治体の面接試験内容に応じた面接練習を行っています。また、全国の教員採用試験の筆記試験の過去問をそろえています。大学院は兵庫県以外の出身者も多く、修了後は全国の自治体で活躍しています。

Q 大学院進学による教員採用試験の優遇措置やメリットはありますか。

大学院進学や在学を理由とした採用候補者名簿登載期間の延長のほか、教職大学院修了見込みの学生を対象とした特別選考（1次試験免除）の実施など特例的な措置がある自治体もあります。受験する自治体によっては大学院在学中に2回教員採用試験にチャレンジできます。

また、教員就職後は、大学院修了や専修免許状取得により給与面でも優遇されます。

大学院連合学校教育学研究科（博士課程）

本大学院修了見込みで出願の場合 博士課程進学時の検定料・入学料免除！ 日本唯一の学位 博士（学校教育学）を授与

連合学校教育学研究科は、兵庫教育大学を基幹大学とし、上越教育大学、岐阜大学、滋賀大学、岡山大学、鳴門教育大学の6大学が連合して構成している後期3年のみの博士課程です。

実践に根ざした学校教育学を独自の学問分野として確立し、今日の

教育課題の解決と学校教育の質的改善・改革に貢献することを目的としており、学校教育実践について高度で専門的な研究を行い、学校教育実践学および教科教育実践学の分野において自立して研究・実践できる研究者や専門職教育者を養成しています。

博士課程への進学を見据え、よりアカデミックなスキル修得を希望する学生向けの教育プログラムです。

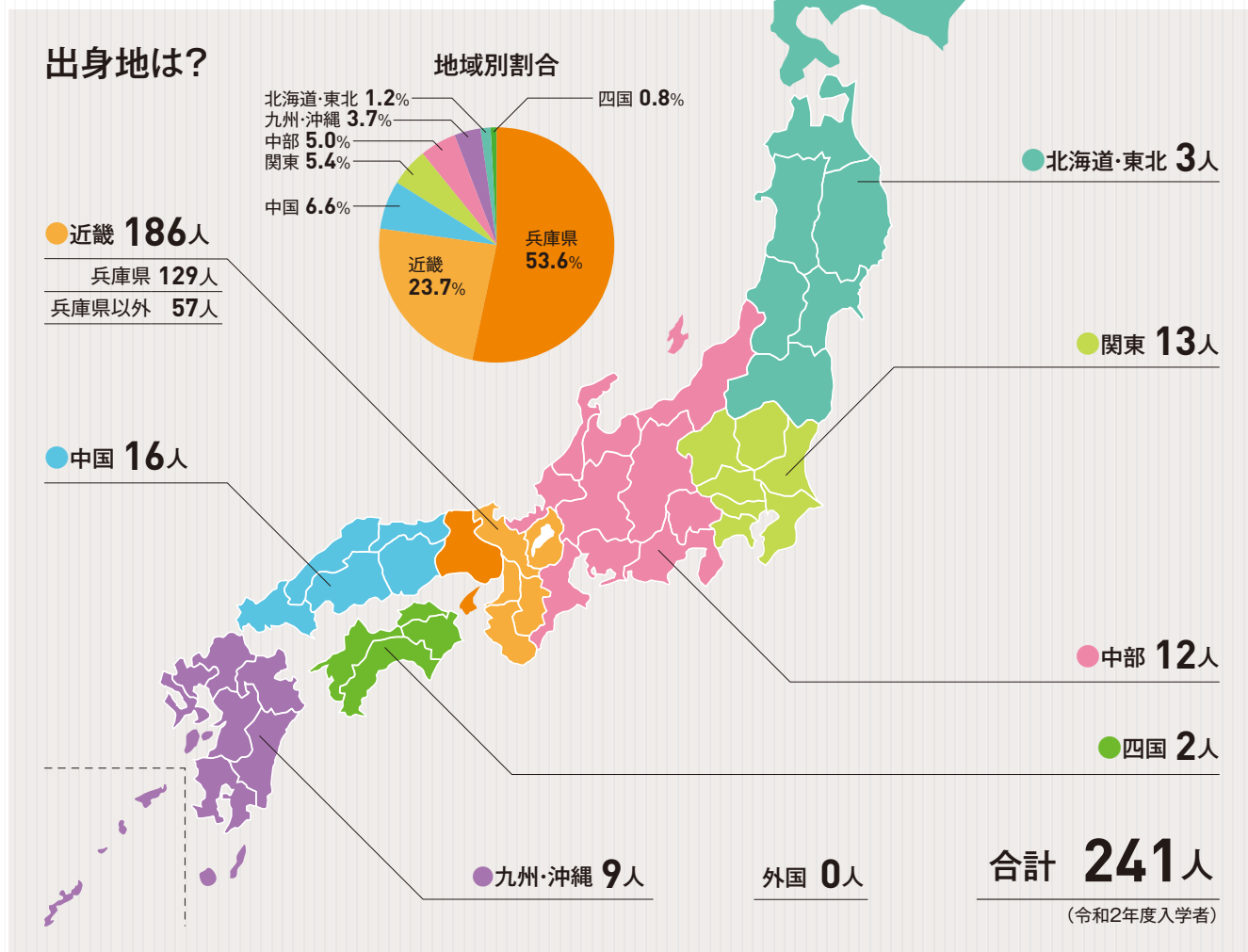
研究力向上特別プログラム

対象 専門職学位課程（教育政策リーダーコースを除く）に所属する学生

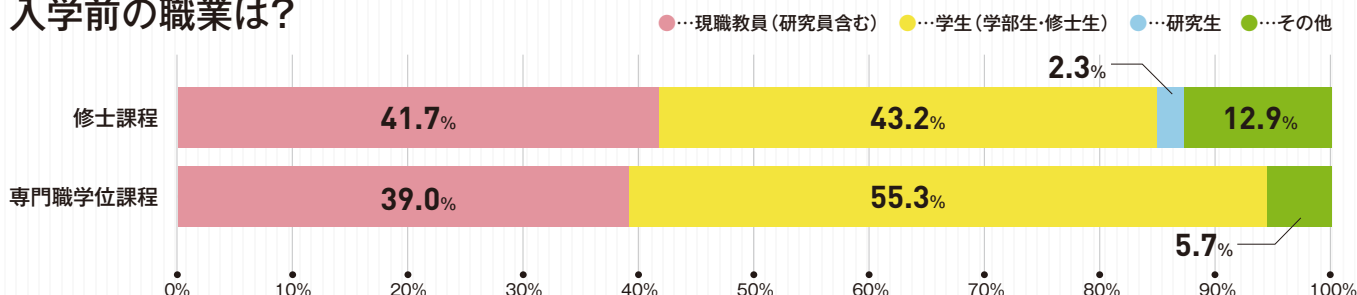
基本的な研究手法に関する講義等を履修し、個々の研究テーマに応じたアカデミック性の高い追加のゼミ指導を受けることで独自の研究成果を上げ、学会で発表することを目指します。

データで見る 大学院生のキャンパスライフ

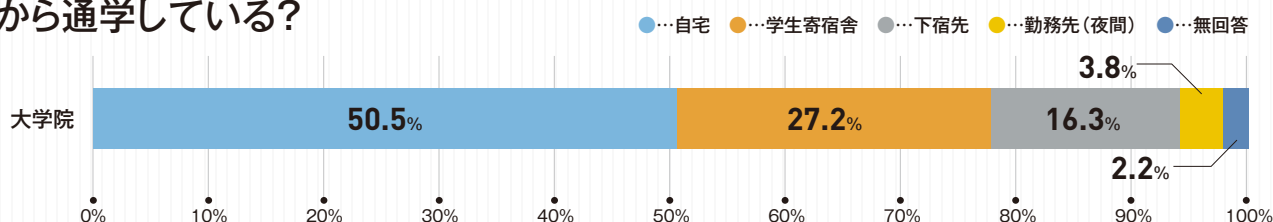
全国各地から集まった多彩な経歴の学生が在籍。
互いに刺激し、学び合える仲間との出会いが待っています。
また、約3割がキャンパス内にある学生寄宿舍に居住。
移動時間が削減でき、非常に便利です!詳しくはp.64へ。



入学前の職業は?



どこから通学している?



学びをサポートする充実の環境

加東キャンパス

院生研究室



各コース・分野等では、大学院生の研究活動や協同的な学びを促進する目的で独自に研究室を設けています。学生同士の交流も活発に行われています。

附属図書館



平日は22時、土日祝日は17時まで開館し、蔵書は教育関係資料を中心に約36万冊。大学院生は15冊まで借りることができます。教材文化資料館を併設。

ラーニングコモンズ



総合研究棟、附属図書館、大学会館に学生たちの自主的な学びのための共有のスペース。教育実習や研究、就職対策などに活用できます。

大学会館



食堂、売店、ベーカリーカフェ、書店、ATMコーナー、和室、ボランティアステーション等が設けられ、課外活動での利用や大学内における生活上の利便が図られています。

教育実習総合センター



教職大学院や学校教育学部における学校等での実習を円滑に行えるよう支援しています。

発達心理臨床研究センター



発達心理臨床に関する高度な知識・技能を有する教員および心理専門職を育成しています。地域の方の心理的な相談に対応しています。神戸ハーバーランドキャンパスに分室（臨床心理相談室）を設置しています。

神戸ハーバーランドキャンパス

院生合同研究室



デスクスペースはパーティションで仕切っており、研究に集中できます。共用のパソコン、プリンターも配置しています。

図書室



各コースに関連する図書や雑誌を配架。加東キャンパスの附属図書館の所蔵図書の貸し出し、文献のオンライン検索もできます。

KATO

Campus Map

丘陵地に広がる加東キャンパスには多彩な施設がそろっており、学生寄宿舍も敷地内に並んでいます。加東市の中心地からも比較的近く、周囲の自然に恵まれた立地は学びにも生活にも最高の環境です。

キャンパス
パートナー

兵庫県立美術館

兵庫教育大学の学生は無料(一部有料)で各展覧会を観覧することができます。



総合研究棟(学生ホール)



自然、生活・健康棟



体育棟



講堂

1 講堂	8 情報処理センター	15 ラグビー・サッカー場
2 教育・言語・社会棟	9 事務局	16 和弓場
3 自然、生活・健康棟	10 総合研究棟	17 野球場
4 体育棟	11 教育子午線ホール	18 陸上競技場
5 芸術棟	12 発達心理臨床研究センター	19 ソフトボール場
6 共通講義棟	13 大学会館(食堂、バーカリーカフェ、書店、売店)	20 体育館
7 附属図書館	14 テニスコート	21 武道場

加東キャンパスで履修するコース(クラス)

修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース 昼
		幼年教育・発達支援コース 昼
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース 昼
		芸術表現系教育コース 昼
		生活・健康・情報系教育コース 昼
専門職学位課程	特別支援教育専攻	障害科学コース
		発達障害支援実践コース
	教育実践高度化専攻	学校経営コース 昼
		教育方法・生徒指導マネジメントコース 昼
		言語系教科マネジメントコース 昼
		社会系教科マネジメントコース 昼
		理数系教科マネジメントコース 昼
		小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)
		グローバル化推進教育リーダーコース 昼

学生寄宿舍

加東キャンパス東側の「学生寄宿舍エリア」に、学生の勉学に適する環境を提供することを目的として単身用学生寄宿舍7棟(全560室)、世帯用学生寄宿舍4棟(全120室)を設置しています。また、加東市内には学生向けのマンションやアパートなどもあります。

全室に
光インターネット
回線を完備

入居資格・寄宿料等について(令和3年度)

学生寄宿舍の入居者は大学が選考のうえ決定します。入居者は光熱水料、共益費なども負担しなければなりません。

入居者の選考基準について

- ① 片道通学所要時間
- ② 同一生計世帯全員の年間所得
- ③ 身体障害、風水害等の災害および不慮の事故等
- ④ その他特に考慮すべき場合

単身用学生寄宿舍

1カ月の負担額(目安)	約1万5,000円
寄宿料	4,300円(月額)
光熱水料	電気・ガス・水道料金
共益費	4,500円(月額)

世帯用学生寄宿舍

1カ月の負担額(目安)	約2万6,000円
寄宿料	[37㎡]……9,500円(月額) [48㎡]…1万1,900円(月額)
光熱水料	電気・ガス・水道料金
共益費	2,500円(月額)

学生寄宿舍の詳細はこちら！

<https://www.hyogo-u.ac.jp/campuslife/dormitory.php>

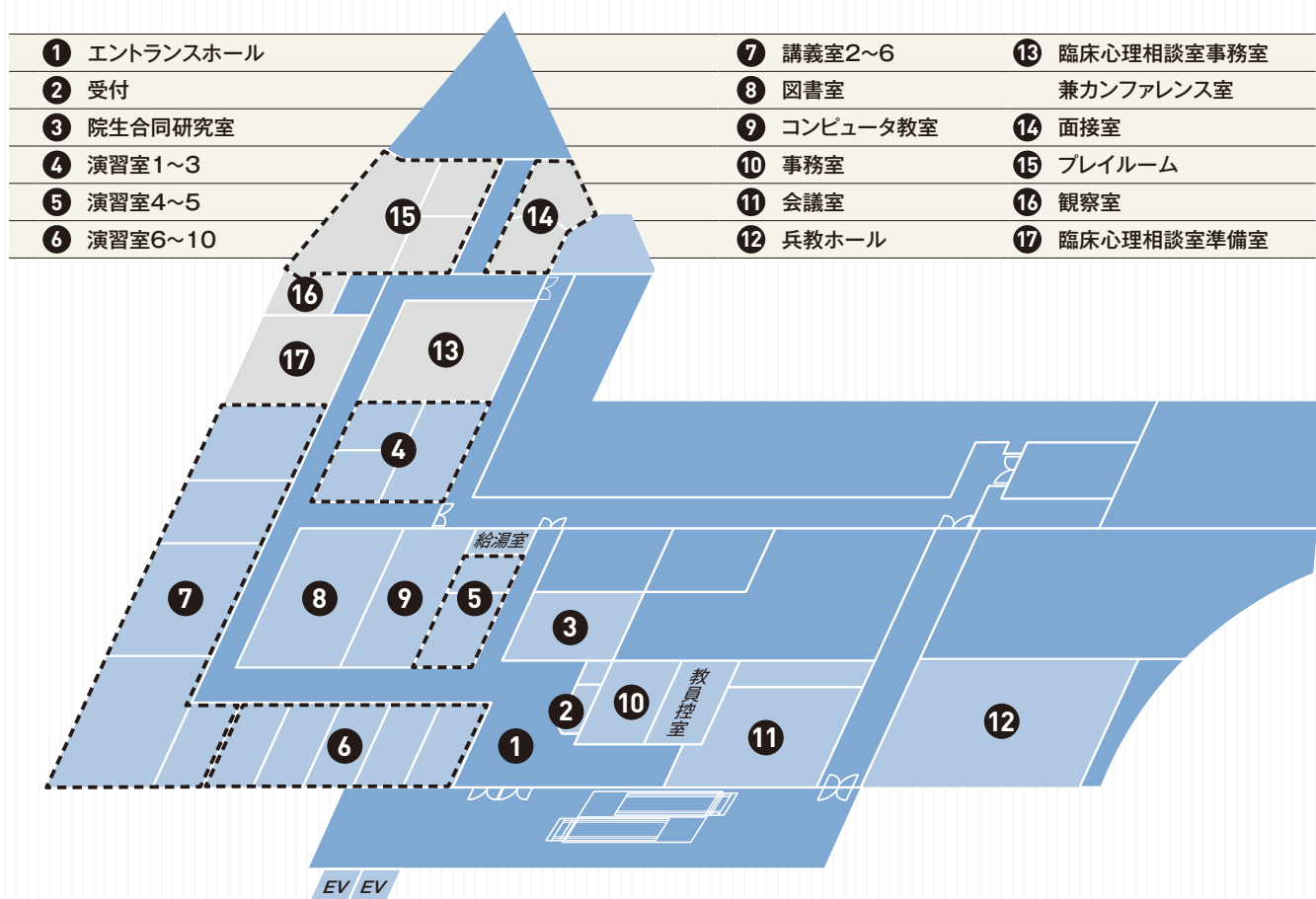


※数年以内に学生寄宿舍の計画的な整備・改修工事を行う予定です。改修工事の際には、他の棟への転居(引越し)に協力いただく場合があります

KOBE Harborland

Campus Map

教職等の仕事を終えてから夜間の授業を履修できるよう、交通至便な神戸市中央区に開設。働きながら、神戸の港を望むキャンパスで学位を取得できます。



神戸ハーバーランドキャンパスで履修するコース(クラス)

修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース 夜
		幼年教育・発達支援コース 夜
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース 夜
		臨床心理学コース 昼 夜
		芸術表現系教育コース 夜
		生活・健康・情報系教育コース 夜
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース 夜
		教育方法・生徒指導マネジメントコース 夜
		言語系教科マネジメントコース 夜
		社会系教科マネジメントコース 夜
		理数系教科マネジメントコース 夜
		グローバル化推進教育リーダーコース 夜
		教育政策リーダーコース※
		学校教育コース

※…神戸ハーバーランドキャンパスでの集中講義のほか、出張講義やビデオ教材等を用いた授業を実施します。

注) ●専攻・コースにおける入学者の状況や希望により変更する場合があります。

●修士課程の課題研究と研究指導は、指導教員等と学生が相談の上、曜日・時限を設定することになります。

●修士課程の共通科目(選択必修)および神戸ハーバーランドキャンパスの特別支援教育プログラムの一部の科目は、土・日曜や休業期間中に集中講義として開講します。

●各専攻・コースの専門科目のうち集中講義で行う授業科目は、加東キャンパスで開講することがあります。

●演習科目の一部と実習・実技科目は、土・日曜や集中講義形式等により加東キャンパスで開講することがあります。

加東キャンパス

加東市下久米942-1



アクセス

車の場合

大阪国際空港から中国自動車道経由 約45分
 JR新大阪駅から中国自動車道経由 約60分
 三宮(神戸市)から新神戸トンネル、国道428号経由 約60分

公共交通機関の場合

JR新大阪駅 ... ハイウェイバス 約65分 ... 高速社(中国自動車道) ... 兵教シャトル便 約5分
 JR三ノ宮駅 ... ハイウェイバス 約65分 ... 高速社(中国自動車道) ... 兵教シャトル便 約5分
 JR姫路駅 特快 約70分 ... 社車庫前(案内所) ... 特快 約12分

神戸ハーバーランドキャンパス

神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル2・3階(受付は3階)



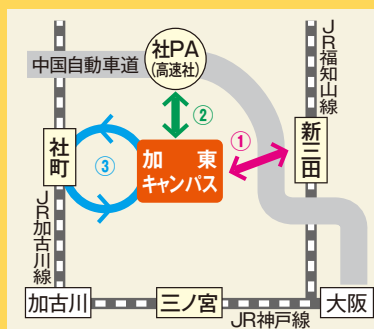
アクセス

公共交通機関の場合

JR神戸駅・市営地下鉄「ハーバーランド」駅から浜側へ 徒歩約8分
 神戸高速鉄道(阪急、阪神、山陽乗り入れ)
 「高速神戸」駅から浜側へ 徒歩約13分

安心して通学できる環境

通学や生活に便利なカレッジバス(無料)



神戸・大阪方面からの学生の通学や、マイカーを持っていない下宿生の生活をサポートするため、加東キャンパスと各地を結ぶカレッジバスを3ルート運行しています。

時刻表など詳細はこちら→



電車の時刻や授業に合わせて運行

①新三田シャトル便

JR新三田駅→加東キャンパス
 平日(年末年始を除く)3往復

高速バスの時刻や授業に合わせて運行

②兵教シャトル便

高速社→加東キャンパス
 平日(年末年始を除く)20往復
 ※来学者も利用できます

買い物などに便利! 加東市内を循環

③加東ループ便

JR社町駅→イオン社店→加東市街→高速社→加東キャンパス
 平日(年末年始を除く)4往復(1周約70分)

兵庫教育大学のビジョン

- 1 教師教育のトップランナー
- 2 学生の持てる力を最大限に引き出す大学
- 3 成長し続ける大学

兵庫教育大学のミッション

- 1 現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成
- 2 実践力に優れた新入教員及び心理専門職の養成
- 3 教育実践学の推進
- 4 教師教育の先導的モデルの構築
- 5 教育研究成果の国内外への発信

問い合わせ先

入試について 入試課 ☎ 0795・44・2067

カリキュラム・教員免許状について 学務課 ☎ 0795・44・2040

国立大学法人
兵庫教育大学

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 <https://www.hyogo-u.ac.jp/>
令和3年4月発行